

消 防 年 報

平成29年度版



多治見市消防本部

平成30年刊行

多治見市民憲章

わたくしたちは、多治見市民としての誇りと責任を感じ憲章と共に進みましょう

- 1 めぐまれた資源を愛し、郷土の発展に努めましょう
- 2 美しい環境をつくり、健康で住みよい都市にいたしましょう
- 3 きまりを守り、明るい社会をつくりましょう
- 4 教養を高め、文化のまちをきずきましょう
- 5 お互いに助け合って、みんなの幸せを守りましょう

(昭和37年7月31日告示)

市の花



キキョウ



ツツジ

市の木



シデコブシ



イチヨウ

は し が き

- 1 この年報は、平成29年度中の多治見市の消防状況を収録し、あわせて累年の状況を比較して、将来の資料にすることを目的に編纂してあります。
- 2 この年報は、人口・予算・職員数等、特に明記してあるものを除き、平成29年度末をもって収録してあります。

目 次

多治見消防の歩み	1
----------	---

消 防 現 勢

多治見消防の位置	10
多治見市消防配置図	11
多治見市消防組織機構	12
消防本部事務分掌	13
消防署事務分掌	14
概要・沿革	15
市一般会計予算と消防予算との比較	15
消防庁舎の現況	16
消防相互応援協定	17
階級別職員配置状況	19
年齢別階級	19
勤続年数別階級	19
消防職員資格取得状況	20
消防ポンプ自動車等配置状況	21
装備品	21
消防水利状況	22
管内別消防水利	22
消防団現勢	23
消防団員報酬費	23
消防団員諸手当支給状況	23
在職年数別団員数	24
年齢別階級別団員数	24
消防音楽隊の現状	25
人員構成	25
演奏実績	25
訓練実績	25
消防団車両等配置状況	26
消防団の出動状況	27
消防団の訓練概要	27
消防団主要行事	27

救 急・救 助

救急救命講習会状況	29
AED設置施設状況(多治見市保有)	29
消防本部における救急救命訓練用資機材の保有状況	29
救助用機械器具等の保有状況	30
都市型ロープレスキュー資機材の保有状況	31

予 防

防火対象物数・予防査察状況・防火管理者実態一覧	33
防火管理講習受講者数	35
用途別建築同意及び事務処理状況	35
年別・工事別建築同意状況	37
消防用設備等検査状況	38
広報公聴活動状況	39
少年消防クラブの現況	39
女性防火クラブの現況	39
幼年消防クラブの現況	40
危険物施設状況	41
各種届出状況	42
予防関係調査状況	42
高圧ガス製造施設等施設数	43
火薬類事業関係	43
中・高層建築物状況	44

防 災

自主防災組織	46
自主防災組織訓練状況	46
指定避難所・指定緊急避難所	46
防災倉庫設置状況	46
防災行政無線施設状況	47
街頭消火器設置状況	47
初期消火用放水器具設置状況	47

緊急通報システム・救急医療情報システム

緊急通報システム	
校區別加入者数	49
月別受信状況	49
救急医療情報システム	
月別医療案内状況	50

通 信 体 制

無線機配置状況	52
---------------	----

気 象 統 計

天候別日数状況	54
月別気温状況	54
月別湿度状況	55
月別降雨状況	55
年度別雨量状況	56
月別風速状況	56
季節別風向状況	57
年度別火災警報発令状況	57

多 治 見 消 防 の 歩 み

明治 17 年	私設、多治見消防組設置
明治 28 年 10 月	多治見村本郷の私設消防組は、「公設多治見本郷区消防組」と改称
明治 31 年	脇之島私設消防組設置
明治 36 年 3 月	各地の私設消防組を合併し、「公設多治見消防組」と改称

大正 3 年	ドイツ式腕用ポンプ6台を配備
大正 9 年	手挽ガソリンポンプ1台を配備

昭和 2 年 9 月 12 日	消防ポンプ自動車を配備
昭和 9 年 8 月 1 日	多治見町、豊岡町の合併に伴い豊岡消防組は、「多治見豊岡消防組」と改称
昭和 14 年 4 月 1 日	多治見消防組は警防団令の施行に伴い、「多治見町警防団」と改称
昭和 15 年 8 月 1 日	多治見市制施行により多治見町警防団を「多治見市警防団」と改称
昭和 20 年 1 月 9 日	応召等により団員の欠員が増加したので多治見市警防補助隊を設置
6 月 27 日	空襲に対する救護、防毒のため分団新設、婦人団員69人が入団し多治見消防史上婦人団員が初めて誕生
10 月 1 日	多治見市常備消防部を創設 部長以下12人(消防本部・署の基となる)
11 月 14 日	常備消防制度の発足に伴って警防補助隊及び救護防毒のための分団を廃止
昭和 22 年 10 月 1 日	多治見市警防団を解団 多治見市消防団を結成 [常備部22人、消防団員278人]
昭和 24 年 3 月 1 日	多治見市消防会館竣工
9 月 18 日	多治見市消防本部設置 [消防吏員33人] 多治見市消防本部設置並びに常備消防強化に伴い、多治見市消防団機構改革 [団員147人]
昭和 25 年 4 月 23 日	消防林を市有林と設定し、松苗55,000本を日向(現旭ヶ丘)に植林
昭和 27 年 9 月 8 日	機構改革により多治見市消防署を設置 [消防吏員34人]
昭和 29 年 4 月 19 日	消防本部に多治見市整備場(認証工場)を設置、本部及び消防団車両並びに市役所関係車両の修繕・整備を実施
昭和 30 年 5 月 8 日	第4回岐阜県消防操法大会を市営球場で開催

昭和 32 年 1 月	廿原町、諏訪町に各団員10人、特別消防隊を結成
昭和 33 年 8 月 28 日 10 月 16 日 12 月 24 日	水防倉庫及び消防車庫が竣工(耐火ブロック造 195.1m ²) 三の倉町に特別消防隊を結成 [団員7人] 消防団機構改革により中央分団を中央南・中央北の両分団に編成
昭和 34 年 11 月 25 日	1959年式プリンス型救急車を購入し救急業務を本格的に開始
昭和 35 年 4 月 1 日 8 月 1 日 12 月 1 日	可児郡姫治村の一部が多治見市へ合併、消防団機構改革により姫治村消防団を多治見市消防団南姫分団と改称 消防団機構改革により多治見市消防音楽隊を結成 [隊長以下25人] 北小木町に特別消防隊を結成 [団員8人]
昭和 38 年 7 月 31 日	多治見市消防本部第2庁舎を改築竣工
昭和 41 年 12 月 2 日	屈折梯子付消防ポンプ自動車(15m級)を消防署に配備
昭和 44 年 12 月 11 日 12 月 19 日	第1種高圧ガス製造所設備を消防署に設置 住吉町4丁目に消防署臨時川北出張所を設置
昭和 46 年 10 月 21 日 11 月 30 日 12 月 24 日	消防本部機構改革により消防署を南消防署・北消防署に分割設置し、消防吏員60人に増員 梯子付消防ポンプ自動車(32m級)及び化学消防自動車各1台を北消防署に配備 北消防署庁舎竣工
昭和 47 年 9 月 2 日 10 月 8 日	小型動力ポンプ付積載車を廿原・諏訪特別消防隊に配備 中央自動車道小牧～多治見間が開通し、高速自動車道路における消防、救急業務を開始する
昭和 48 年 4 月 30 日 9 月 26 日	滝呂分団車庫竣工(滝呂町10丁目) 小型動力ポンプ付積載車を三の倉・北小木特別消防隊に配備
昭和 49 年 4 月 1 日 8 月 27 日 12 月 26 日	土岐郡笠原町の消防業務受託により機構改革し笠原消防署を設置、消防吏員80人、事務職員1人に増員 救急車を南消防署に配備 水槽付消防ポンプ自動車(3,000ℓ)を北消防署に配備
昭和 50 年 3 月 25 日 11 月 28 日	救助工作車を南消防署に配備 消防ポンプ自動車(CD-II型)を南消防署に配備
昭和 51 年 2 月 6 日	水槽付消防ポンプ自動車(6,000ℓ)を南消防署に配備
昭和 52 年 5 月 30 日 10 月 27 日	救急車を北消防署に配備 消防ポンプ自動車(BD-I型)を北消防署に配備
昭和 53 年 3 月 15 日 3 月 20 日 6 月 29 日 9 月 17 日	火災・救急等の出動増加により救急指令装置(C型)及びクロスバー式自動交換装置を設置 消防テレホンサービス業務を南消防署で開始 防災指導車を消防本部に配備 岐阜県総合防災訓練実施

昭和 54 年 2 月 1 日	機構改革により消防本部内に通信指令室を設置
4 月 1 日	消防職員を89人に増員
10 月 1 日	笠原消防署庁舎(消防会館)竣工
昭和 55 年 1 月 26 日	北消防署車庫増築及び消防訓練塔改築
3 月 29 日	市之倉分団車庫竣工(市之倉町8丁目)
昭和 56 年 2 月 25 日	消防ポンプ自動車(BS-I 型)を南消防署に配備
3 月 18 日	中央北分団車庫竣工(虎溪町1丁目)
昭和 57 年 2 月 26 日	救急車2台を更新、南消防署並びに北消防署に配備
7 月 11 日	指令車を消防本部に配備
昭和 58 年 3 月 7 日	消防ポンプ自動車(CD-II 型)を中央南・滝呂分団に更新 配備
8 月 5 日	小型動力ポンプ付積載車を廿原特別消防隊に配備(日消より 寄贈)
10 月 14 日	消防本部・南消防署庁舎建設に着手
11 月 12 日	消防ポンプ自動車(CD-II 型)を中央北・池田分団に更新 配備
12 月 1 日	救急医療情報案内業務(救急医療情報センター)を開始
12 月 16 日	小型動力ポンプ付積載車を諏訪特別消防隊に更新配備
12 月 25 日	消防団機構改革により廿原・諏訪・三の倉特別消防隊の3 隊を合併して池田南分団と昇格発足 北小木特別消防隊は、南姫分団に合併
昭和 59 年 9 月 22 日	小型動力ポンプ付積載車を南姫分団(北小木)に配備
10 月 1 日	消防本部・南消防署庁舎竣工(三笠町2)業務開始 救急指令装置B型に更新、総合気象観測装置による気象 観測を開始
10 月 2 日	消防ポンプ自動車(CD-II 型)を共栄・小泉分団に更新 配備
12 月 6 日	共栄分団車庫竣工(小名田町1丁目)
昭和 60 年 2 月 1 日	小型動力ポンプ付積載車を池田南分団(三の倉)に更新 配備
9 月 27 日	消防ポンプ自動車(CD-II 型)を市之倉・南姫分団に更新 配備
11 月 30 日	中央南分団車庫竣工(青木町)
昭和 61 年 2 月 18 日	通信指令室に多治見市防災行政無線設備(分局)を設置、 消防防災信号、消防広報等の業務を開始
3 月 25 日	池田分団車庫新・改築竣工(池田町2、4丁目)
11 月 25 日	化学消防ポンプ自動車を北消防署に配備
12 月 3 日	南姫分団車庫竣工(大藪町)
12 月 25 日	小泉分団車庫竣工(小泉町2丁目)
昭和 62 年 9 月 22 日	小型動力ポンプ付積載車配備(中央北・市之倉分団)
10 月 3 日	消防ポンプ自動車(CD-I 型)を北消防署に配備
11 月 29 日	救助工作車(II 型)を南消防署に配備

昭和 63 年 2 月 8 日	中央北分団車庫増改築竣工(虎溪町2丁目)
4 月 1 日	消防職員定数を95人に増員
4 月 1 日	旭ヶ丘分団を新設、消防団員定数を358人に増員
9 月 20 日	小型動力ポンプ付積載車配備(中央南・共栄分団)
10 月 19 日	15m級梯子車を更新し南消防署に配備
11 月 27 日	小型動力ポンプ付積載車を旭ヶ丘分団に配備
12 月 25 日	旭ヶ丘分団車庫竣工(旭ヶ丘8丁目)

平成 元 年 4 月 1 日	消防本部機構改革、消防課を警防課に改称、予防課設置
10 月 17 日	小型動力ポンプ付積載車を池田分団・滝呂分団に配備
10 月 21 日	小型動力ポンプ付水槽車(10, 000ℓ)を南消防署に配備
12 月 25 日	滝呂分団車庫竣工(滝呂町10丁目)
平成 2 年 3 月 7 日	救急車を更新し南消防署に配備
3 月 30 日	消防ポンプ自動車(CD-Ⅰ型)を池田南分団(廿原)に配備
3 月 30 日	消防ポンプ自動車(CD-Ⅱ型)を旭ヶ丘分団に配備
7 月 1 日	緊急通報用ファクシミリを全消防分団車庫に設置
9 月 13 日	池田南分団(廿原)車庫竣工
平成 3 年 3 月 27 日	救急車を更新し、北消防署に配備
4 月 1 日	脇之島分団を新設、消防団員定数を390人に増員
6 月 24 日	小型動力ポンプ付積載車を脇之島分団に配備
8 月 4 日	第40回岐阜県消防操法大会を脇之島運動広場で開催
12 月 6 日	消防ポンプ自動車(CD-Ⅱ型)を脇之島分団に配備
平成 4 年 1 月 30 日	北消防署庁舎改築
3 月 4 日	消防ポンプ自動車(CD-Ⅰ型)を南消防署に配備
3 月 22 日	池田分団車庫を移設竣工(池田町2丁目)
3 月 29 日	池田南分団(三の倉)車庫竣工
4 月 1 日	消防職員定数を99人に増員 防災業務の主管を市役所企画調整課より移管
9 月 9 日	災害弱者緊急通報システム運用開始
11 月 5 日	救急車を更新し、笠原消防署に配備
12 月 26 日	現場指揮車を更新し消防本部に配備
平成 5 年 3 月 28 日	池田南分団(諏訪)車庫竣工
10 月 1 日	気象観測装置更新
12 月 9 日	水槽付消防ポンプ自動車(IB型)(1, 500ℓ 級)を南消防署に配備
12 月 19 日	南姫分団(北小木)車庫竣工
平成 6 年 2 月 28 日	北消防署車庫増改築
3 月 31 日	通信指令室増築(132㎡)
4 月 1 日	消防職員定数107人に増員
9 月 9 日	水槽付消防ポンプ自動車(IB型)(1, 500ℓ 級)を北消防署に配備
12 月 1 日	高規格救急車を南消防署に配備

平成 7 年 3 月 27 日	消防緊急通信指令装置導入
4 月 1 日	岐阜県防災行政無線設置、通信指令室配置
12 月 7 日	梯子車(35m級)を南消防署に更新配備
平成 8 年 9 月 18 日	消火通報訓練指導車を北消防署に配備
10 月 16 日	救急車を更新し、北消防署に配備
10 月 16 日	消防ポンプ自動車(CD- I 型)を更新し、南消防署に配備
12 月 25 日	岐阜県震度情報ネットワークシステム整備
平成 9 年 4 月 1 日	多治見市機構改革に伴う予防課、警防課統合、予防警防課に改称
4 月 1 日	防災業務の主管を一部市役所企画課に移管
平成 10 年 10 月 1 日	多治見市事業見直しに伴う係制の廃止及びグループ制の導入
	多治見市地域防災活動協力員制度発足
10 月 30 日	移動体通信代表受信消防本部体制発足
11 月 11 日	消防ポンプ自動車(CD- I 型)を更新し、笠原消防署に配備
平成 11 年 3 月 7 日	滝呂台分団車庫竣工(滝呂町14丁目)
4 月 1 日	滝呂台分団を新設、消防団員定数を422人に増員し、消防ポンプ自動車(CD- II 型)及び小型動力ポンプ付積載車を配備
9 月 25 日	消防本部発足及び消防団改組50周年記念並びに伊勢湾台風被災40周年式典を文化会館にて挙行
9 月 29 日	岐阜県緊急消防援助隊訓練を多治見駅北市有地で実施
平成 12 年 7 月 1 日	旭ヶ丘分団を北栄分団に改称
10 月 23 日	緊急消防援助隊全国合同訓練に消火部隊1隊が参加(東京都江東区)
11 月 26 日	多治見市制60周年・消防音楽隊結成40周年記念演奏会を文化会館で開催
平成 13 年 9 月 4 日	消防団指揮車を更新し、団本部に配備
10 月 22 日	災害対応特殊救急自動車を北消防署に配備
	高規格救急車を南消防署に配備
平成 14 年 1 月 6 日	土岐川改修のため消防出初式式典を文化会館、演習等を多治見駅北広場にて開催
8 月 14 日	ドクターカー試行運用開始
11 月 19 日	滝呂分団の消防ポンプ自動車CD- II 型をCD- I 型に更新配備
12 月 18 日	救助工作車(II 型)を南消防署に配備
平成 15 年 11 月 11 日	自治体消防55周年記念大会に参加(東京ドーム)
12 月 15 日	中央南、池田分団の消防ポンプ自動車CD- II 型をCD- I 型に更新配備
12 月 18 日	高規格救急車を笠原消防署に更新配備

平成 16 年 1 月 11 日	土岐川改修工事が完了したため、消防出初式式典を多治見市産業文化センター、演習等を土岐川堤防及び土岐川河原にて開催
10 月 1 日	聴覚障害者用メールたじみ119運用開始
平成 17 年 2 月 17 日	緊急通報電話〔日本テレコム(現在ソフトバンクテレコム)〕運用開始
2 月 23 日	中央北分団の消防ポンプ自動車CD-Ⅱ型をCD-Ⅰ型に更新配備 根本分団車庫竣工(根本町7丁目)
4 月 1 日	根本分団を新設、消防団員定数を454人に増員し、消防ポンプ自動車(CD-Ⅰ型)及び小型動力ポンプ付積載車を配備 緊急通報電話(KDDIメタルプラス)運用開始
4 月 3 日	根本分団発足式
7 月 19 日	県総合防災情報システム整備
8 月 1 日	災害情報配信システム(パワフル消防団)運用開始
10 月 13 日	共栄分団の消防ポンプ自動車CD-Ⅱ型をCD-Ⅰ型に更新配備 南姫分団(北小木)の小型動力ポンプ付積載車を更新配備
10 月 26 日	緊急通報電話(NTTひかり電話)運用開始
11 月 28 日	北消防署庁舎改築(耐震補強工事)
平成 18 年 1 月 1 日	多治見市機構改革に伴い、庶務課を消防総務課に改称
1 月 19 日	移動体通信(携帯電話からの119番通報)が代表消防本部受信方式から直接受信方式へ移行
1 月 23 日	土岐郡笠原町が多治見市と合併 常備消防業務受託を廃止 笠原町消防団員定数85人を加えて、消防団員定数を539人に増員
4 月 2 日	小泉分団の消防ポンプ自動車CD-Ⅱ型をCD-Ⅰ型に更新配備 池田南分団(諏訪)の小型動力ポンプ付積載車を更新配備
9 月 19 日	高規格救急車を北消防署に更新配備
11 月 9 日	水槽付消防ポンプ自動車(I-A型・1,500ℓ級)を笠原消防署に更新配備
11 月 19 日	消防音楽隊が多治見笠原合併記念演奏会を笠原中央公民館で開催
12 月 20 日	緊急通報電話(CTCコミュファ光電話)運用開始
平成 19 年 8 月 16 日	気象庁 多治見観測所(北消防署内に設置)にて、全国の最高気温40.9℃を記録
10 月 23 日	南姫分団の消防ポンプ自動車CD-Ⅱ型をCD-Ⅰ型に更新配備 池田南分団(三の倉)の小型動力ポンプ付積載車を更新配備
12 月 28 日	化学消防自動車を更新し、南消防署に配備

平成 20 年 3 月 17 日	(財)日本損害保険協会から高規格救急車を寄贈を受け南署に配備
4 月 1 日	南消防署に女性職員用仮眠室を整備
9 月 1 日	岐阜県立多治見病院とDMERC(欧州型ドクターカー)の運用開始に合わせて協力体制を構築
10 月 15 日	市之倉分団の消防ポンプ自動車CD-Ⅱ型をCD-Ⅰ型に更新配備
平成 21 年 3 月 27 日	消防本部西側出入り口に隣接する土地(435.79㎡)を駐車場用地として取得
4 月 1 日	笠原分団の3分団を第1、第2分団に再編成 機能別分団として、救命処置指導隊(メディックT)を発足
11 月 9 日	笠原第1分団の小型動力ポンプ付積載車を消防ポンプ自動車CD-Ⅰ型に更新配備 中央北分団、小泉分団、南姫分団の小型動力ポンプ付積載車を更新配備
12 月 22 日	消防ポンプ自動車CD-Ⅰ型をCAFS付に更新し、北消防署に配備
平成 22 年 3 月 11 日	消防ポンプ自動車CD-Ⅰ型をCAFS付に更新し、南消防署に配備
3 月 17 日	小型動力ポンプ付水槽車(10,000ℓ)を北消防署に更新配備
12 月 5 日	多治見市制70周年・消防音楽隊結成50周年記念演奏会を文化会館で開催
平成 23 年 3 月 31 日	消防本部・南消防署庁舎改築(耐震補強工事) 通信指令室改修
4 月 1 日	多治見市機構改革に伴い、通信指令室を通信指令課に改称 高機能消防指令システム導入
12 月 4 日	笠原第1分団詰所整備(笠原消防会館1階を改修) 笠原第2分団車庫竣工(笠原町上原)
平成 24 年 3 月 19 日	中央南分団、市之倉分団の小型動力ポンプ付積載車を更新配備
3 月 28 日	現場指揮車を更新し、消防本部に配備
4 月 1 日	嘱託職員制度開始
4 月 1 日	防災業務の主管を市役所企画防災課に移管
11 月 22 日	共栄分団、北栄分団の小型動力ポンプ付積載車を更新配備
平成 25 年 9 月 1 日	多治見市消防団女性消防隊を発足
10 月 18 日	池田分団、滝呂分団の小型動力ポンプ付積載車を更新配備
10 月 21 日	資機材搬送車を消防本部に配備
11 月 25 日	消防団120周年、自治体消防65周年記念大会に参加(東京ドーム)
11 月 28 日	高規格救急車を更新し、北消防署に配備

平成 26 年 3 月 31 日	多治見市地域防災活動協力員制度廃止
4 月 1 日	多治見笠原消防会館の貸館制度廃止により、名称を多治見笠原消防署に改称
	再任用制度開始
10 月 28 日	笠原第1分団の小型動力ポンプ付積載車を更新配備
11 月 17 日	水槽付消防ポンプ自動車を南消防署に更新配備
11 月 18 日	高規格救急車を南消防署に更新配備
12 月 12 日	消防本部に防災活動車を配備
平成 27 年 4 月 1 日	消防救急デジタル無線運用開始
	北消防署に女性職員用仮眠室を整備
11 月 13 日	水槽付消防ポンプ自動車を北消防署に配備
12 月 14 日	池田南分団(廿原)の消防ポンプ自動車を更新配備
平成 28 年 4 月 1 日	消防職員定数を110人に増員
8 月 7 日	「消防感謝祭」第65回岐阜県消防操法大会を星ヶ台運動公園駐車場で開催
10 月 5 日	高規格救急車を更新し、笠原消防署に配備
15 日	北栄分団の消防ポンプ自動車CD-Ⅱ型をCD-Ⅰ型に更新配備
19 日	笠原第2分団の小型動力ポンプ付積載車を更新配備
12 月 23 日	消防本部に防災広報車を配備
平成 29 年 12 月 1 日	脇之島分団の消防ポンプ自動車CD-Ⅱ型をCD-Ⅰ型に更新配備
12 月 1 日	脇之島分団の小型動力ポンプ付積載車を更新配備
平成 30 年 1 月 1 日	多治見市火災予防査察規程を全面的に改正



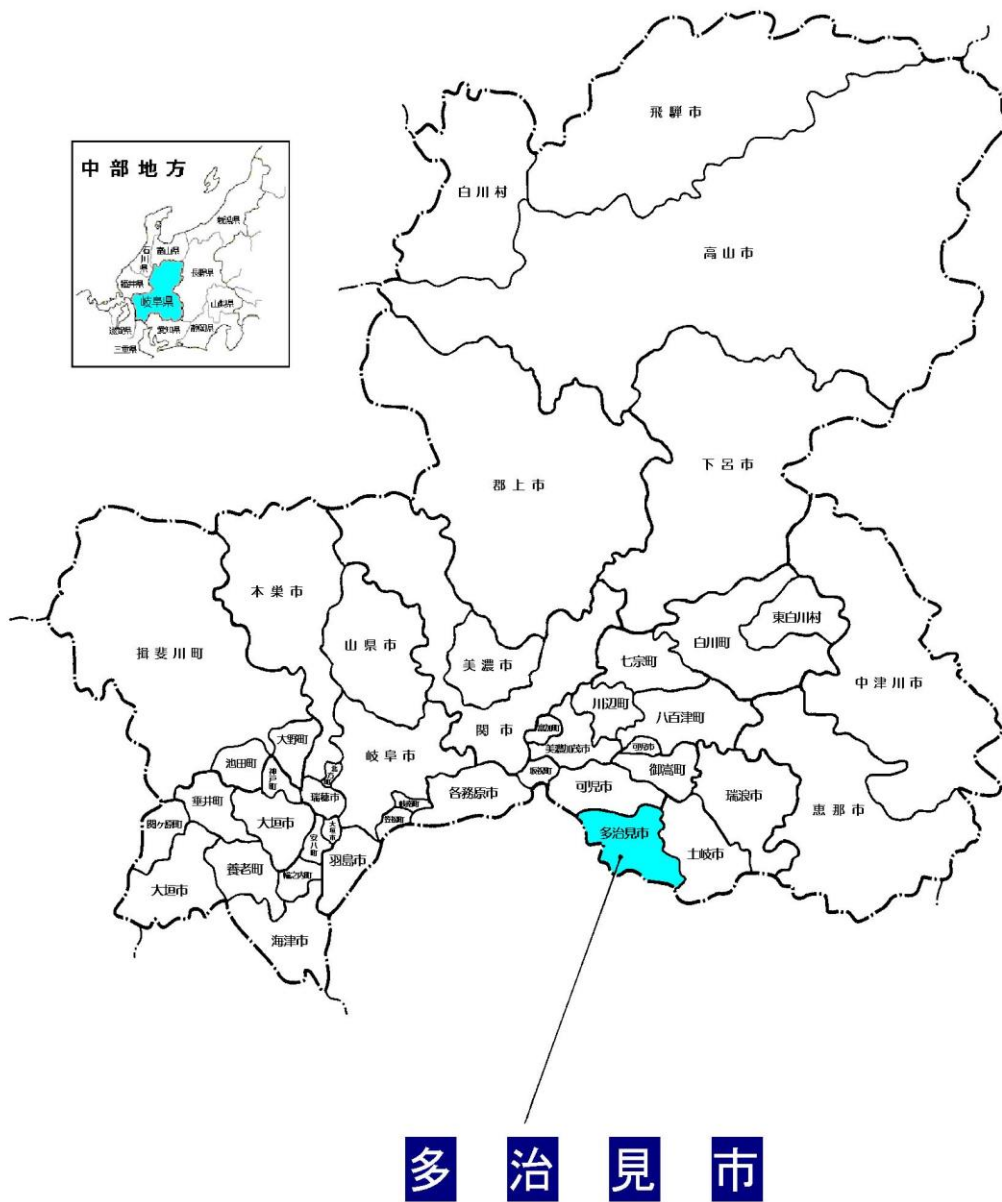
多治見市マスコットキャラクター
うながっぱ

消 防 現 勢

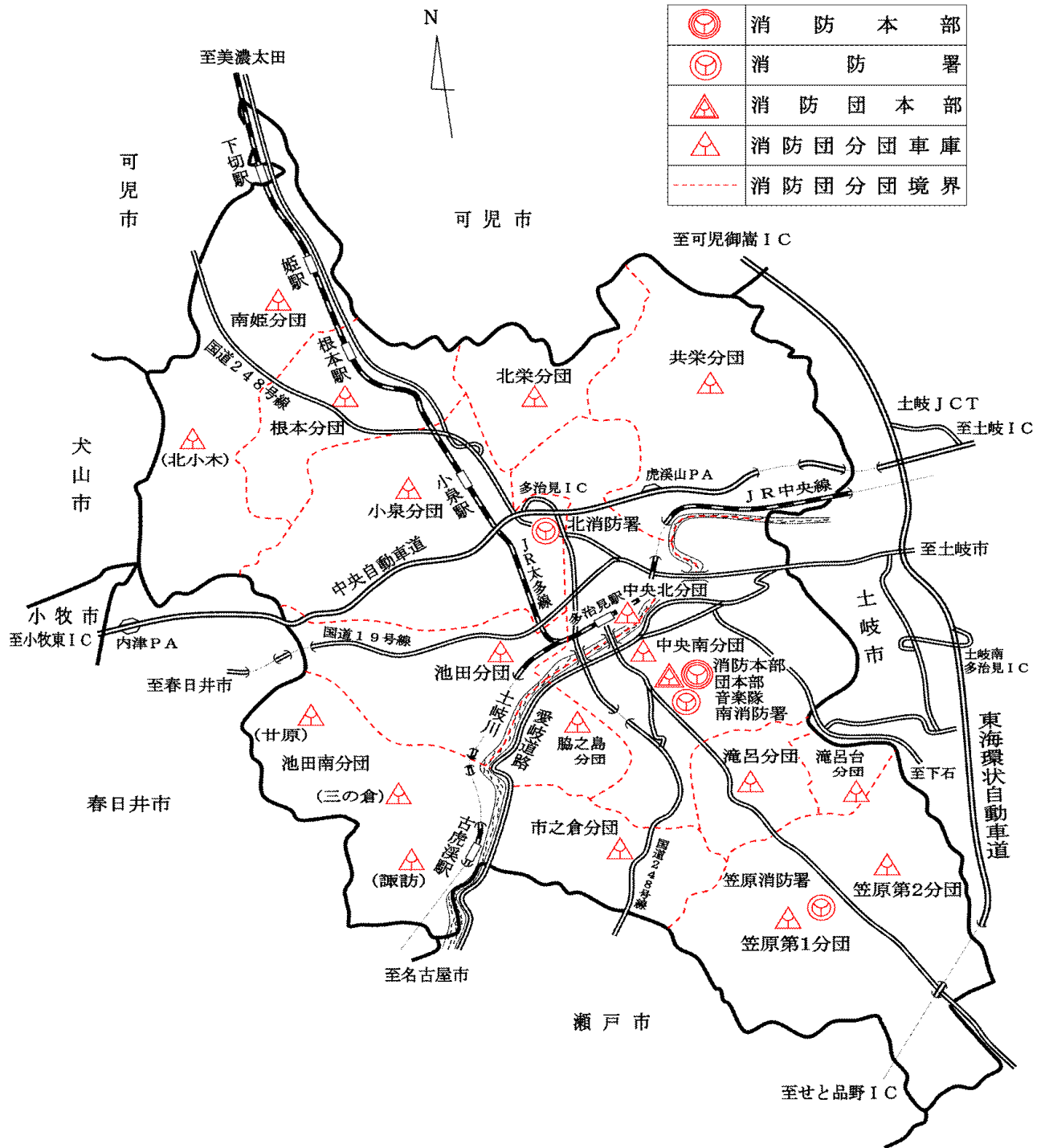


多治見消防の位置

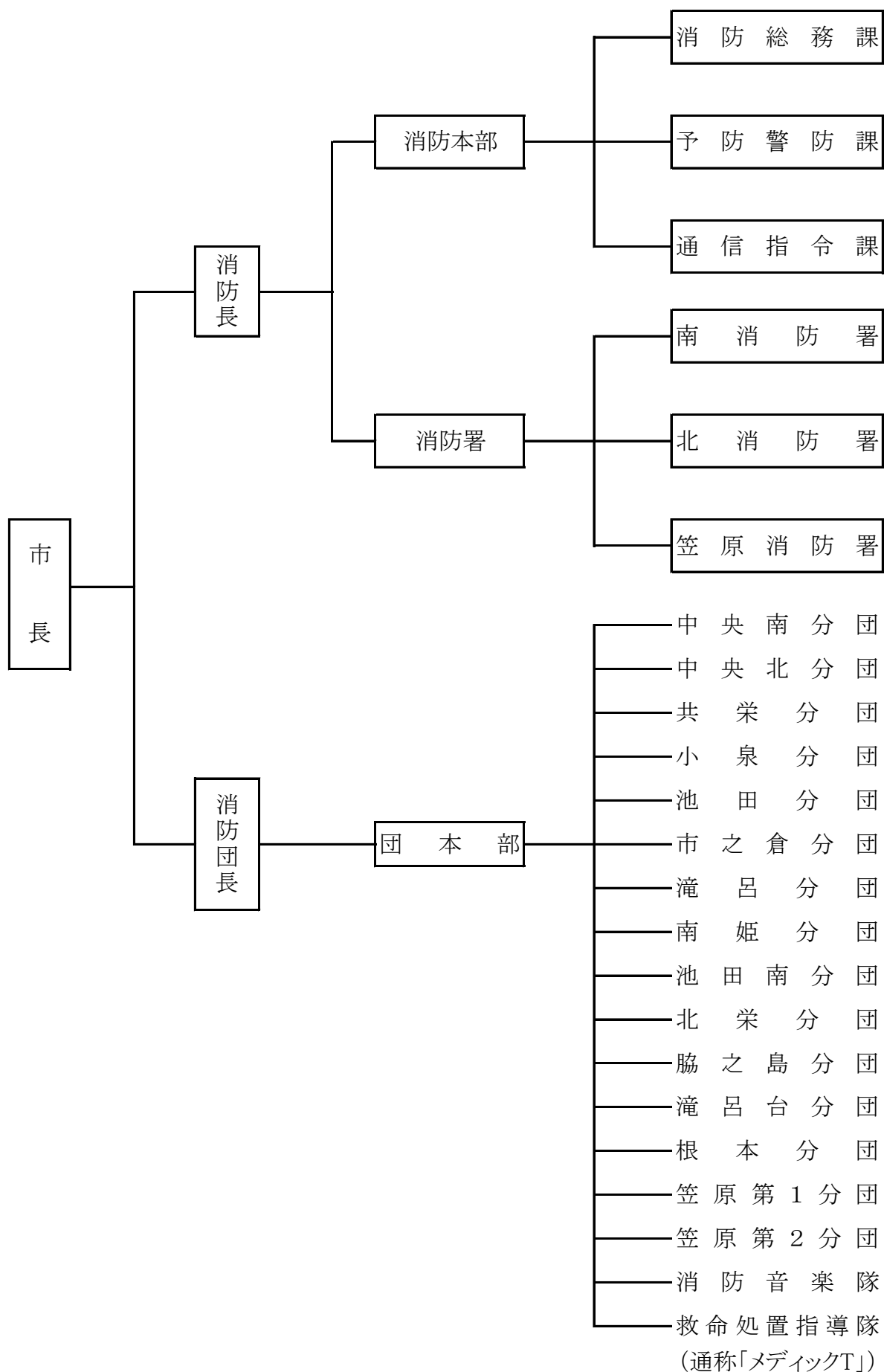
岐阜県



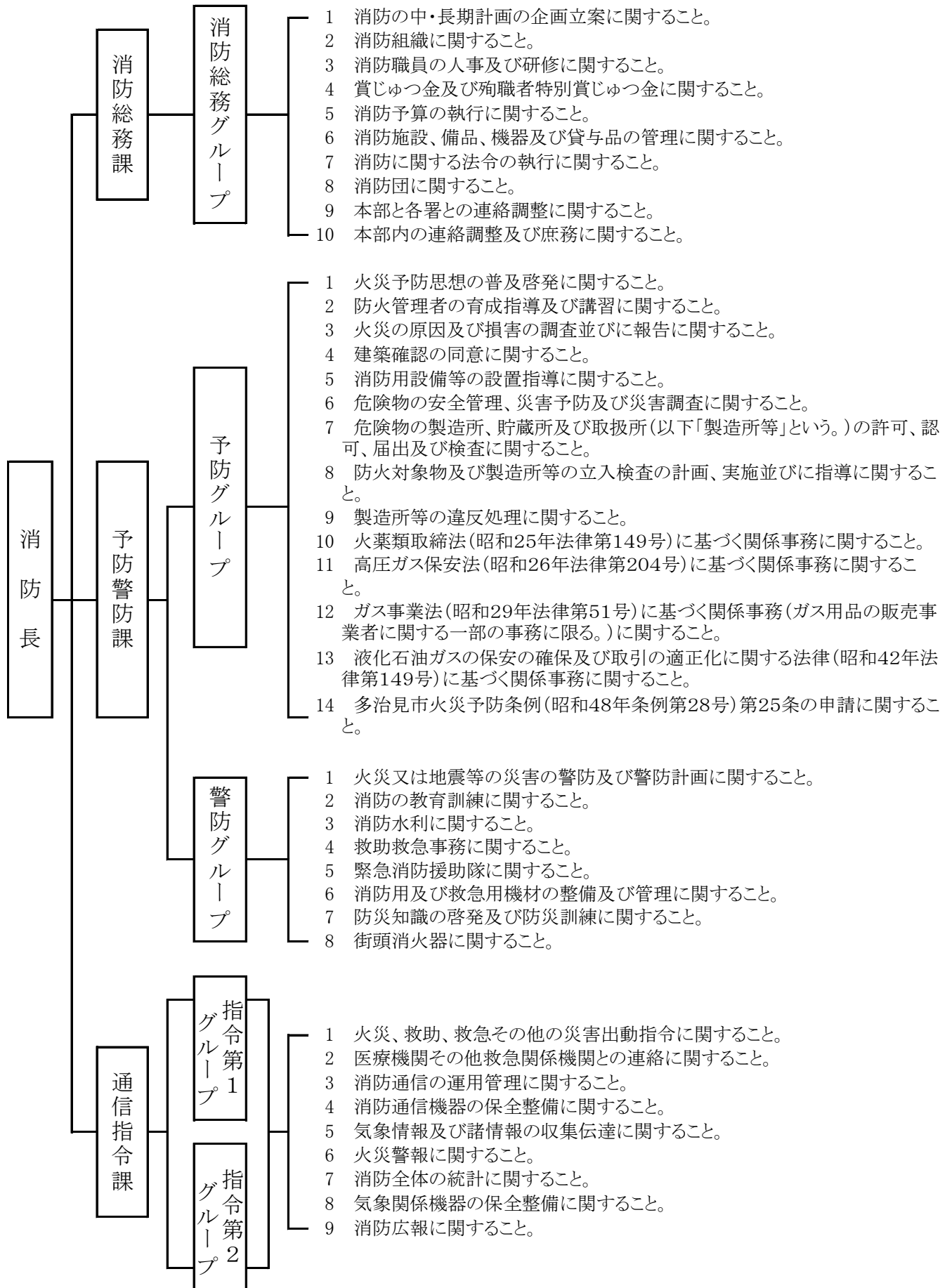
多治見市消防配置図



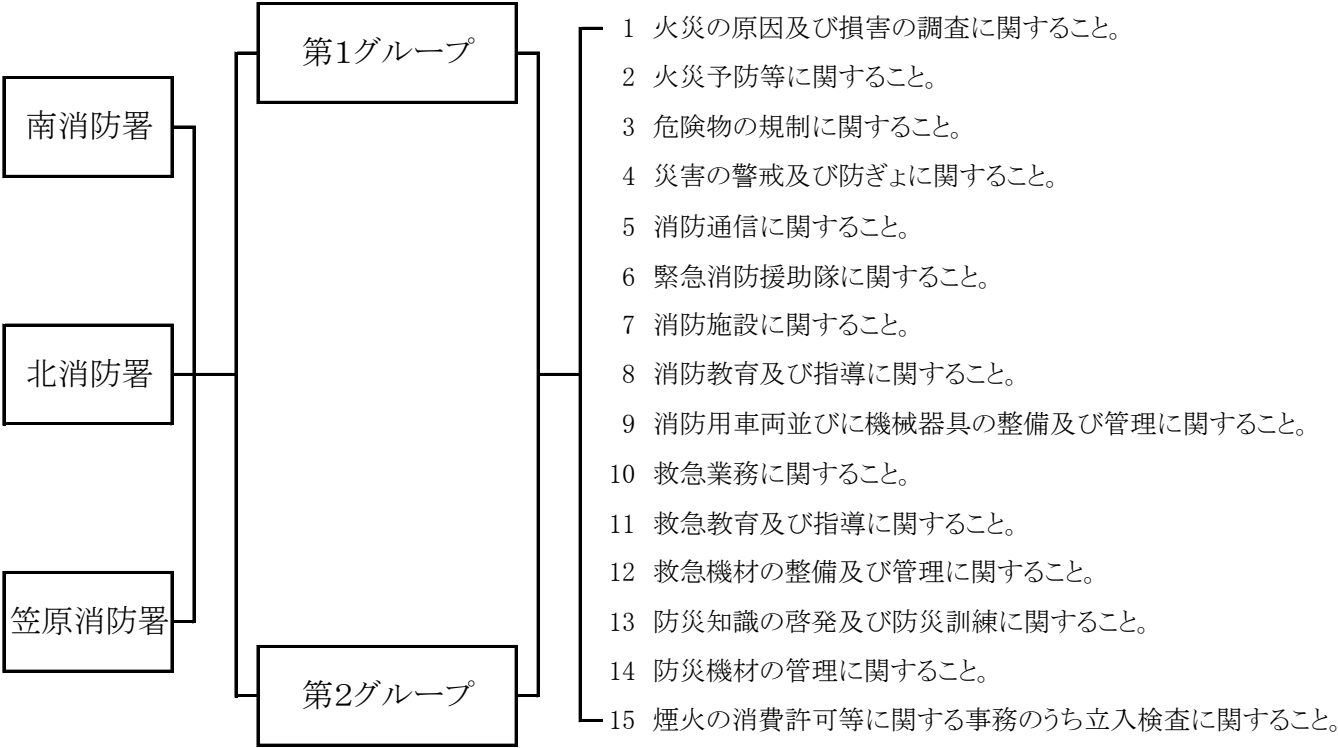
多 治 見 市 消 防 組 織 機 構



消 防 本 部 事 務 分 掌



消 防 署 事 務 分 掌



概 要 ・ 沿 革

(平成30年4月1日現在)

・位 置	東経137度8分6秒	北緯35度19分46秒
・広 域	東西14.73km	南北12.835km
・面 積	91.25 km ²	
・人 口	111,292 人	
・世 帯	46,227 世帯	

・市 制 施 行	昭和 15年 8月 1日
・常 備 消 防 設 置	昭和 20年 10月 1日
・消 防 本 部 設 置	昭和 24年 9月 18日
・消 防 署 設 置	昭和 27年 9月 8日
・南・北消防署設置	昭和 46年 10月 21日
・笠原消防署設置	昭和 49年 4月 1日 (笠原町消防事務委託)
・通信指令室設置	昭和 54年 2月 1日
・警 防 課 改 称	平成 元年 4月 1日 (消防課を警防課に改称)
・予 防 課 設 置	平成 元年 4月 1日
・予 防 警 防 課 設 置	平成 9年 4月 1日 (予防課、警防課を統合)
・消 防 総 務 課 改 称	平成 18年 1月 1日 (庶務課を消防総務課に改称)
・通 信 指 令 課 改 称	平成 23年 4月 1日 (通信指令室を通信指令課に改称)

市一般会計予算と消防予算との比較

平成30年度予算		割 合				
市 予 算 額	消 防 費	人 口 1,000 人	人 口 1,000 人	市 予 算 額 に	人 口 1 人	1 世 帯
		当りの消防職員数	当りの消防団員数	対する消防	当 り	当 り
		費 の 割 合	費 の 割 合	費 の 割 合	消 防 費	消 防 費
		$\frac{\text{職員}}{\text{人口}} \times 1,000$	$\frac{\text{団員}}{\text{人口}} \times 1,000$	%	$\frac{\text{金額}}{\text{人口}}$	$\frac{\text{金額}}{\text{世帯数}}$
千円	千円	人	人	%	円	円
35,462,000	1,321,327	0.9	4.3	3.73	11,823	28,583

区分 年度別	市 一 般 会 計 決 算 額 千円	消 防 費 決 算 額 千円	市 決 算 額 に 対 す る 消 防 費 決 算 額 の 比 率 %
平成24年度	34,332,646	1,012,035	2.9
平成25年度	32,876,000	1,173,876	3.6
平成26年度	36,907,000	1,432,280	3.9
平成27年度	36,602,000	1,130,929	3.1
平成28年度	37,854,726	1,152,417	3.0

消 防 庁 舎 の 現 況



消防本部・南消防署庁舎

所 在 地 多治見市三笠町2丁目21番地
構 造 鉄筋コンクリート造
地下1階地上4階建
敷地面積 5,421.67m²
延べ面積 3,043.38m²
昭和 59年 10月 1日 竣工
平成 7年 3月 31日 増築
平成 23年 3月 31日 改築（耐震補強工事）



北消防署庁舎

所 在 地 多治見市光ヶ丘4丁目48番地の4
構 造 鉄筋コンクリート造2階建
敷地面積 1,600.70m²
延べ面積 1,340.34m²
昭和 46年 12月 24日 竣工
平成 4年 1月 30日 改築
平成 17年 11月 28日 改築（耐震補強工事）



笠原消防署庁舎

所 在 地 多治見市笠原町2081番地の1
（多治見笠原消防署:1階部分）
構 造 鉄筋コンクリート造
地下1階地上3階建
敷地面積 2,368.80m²
延べ面積 2,795.00m²
昭和 54年 10月 1日 竣工
平成 23年 12月 4日 改築

消 防 相 互 応 援 協 定

各市町村の消防力の限界を超える大規模な火災、災害及び集団的な救急救助事故等を効率的に処理するため、多治見市では次のように消防相互応援協定を締結しています。

締 結 年 月 日	締 結 市 町 村 名 等
昭和 41年 3月 8日	土岐市、瑞浪市
昭和 44年 1月 30日	愛知県瀬戸市
昭和 48年 6月 1日	愛知県春日井市
昭和 58年 7月 18日	愛知県犬山市
昭和 62年 2月 28日	可児市、可茂消防事務組合
平成 19年 12月 19日	(東濃地区)土岐市、瑞浪市、恵那市、中津川市

【中央自動車道における応援協定】

締 結 年 月 日	締 結 市 町 村 名 等
昭和 50年 3月 4日	(東濃地区)土岐市、瑞浪市、恵那市、中津川市
昭和 63年 10月 19日	小牧市

【県内高速道路における応援協定】

締 結 年 月 日	締 結 市 町 村 名 等
昭和 51年 4月 1日	大垣市、羽島市、関ヶ原町、養老町、安八町、 上石津町 土岐市、瑞浪市、恵那市、中津川市、大垣消防組合、 不破消防組合
平成 21年 3月 2日	[名神高速道路]関ヶ原町、養老町、大垣市、安八町、 羽島市、不破消防組合、大垣消防組合 [中央自動車道]土岐市、瑞浪市、恵那市、中津川市 [東海北陸自動車道]白川村、飛騨市、高山市、 郡上市、美濃市、関市、岐阜市、岐南町、笠松町、 各務原市、中濃消防組合、羽島郡広域連合

【岐阜県広域消防相互応援協定】

締 結 年 月 日	締 結 市 町 村 名 等
平成 10年 4月 1日	岐阜県下全市町村

【岐阜県防災ヘリコプター応援協定】

締 結 年 月 日	締 結 市 町 村 名 等
平成 7 年 4月 1日	岐阜県下全市町村

【岐阜県立多治見病院DMERCに関わる相互応援協定書】

締 結 年 月 日	締 結 市 町 村 名 等
平成 21年 9月 1日	岐阜県立多治見病院

【岐阜県立多治見病院DMERC業務における多治見市消防無線局の運用に関する協定書】

締 結 年 月 日	締 結 市 町 村 名 等
平成 21年 2月 26日	岐阜県立多治見病院

階 級 別 職 員 配 置 状 況

(平成30年4月1日現在)

階級別 所属別	合 計	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
合 計	104 (1)	1	6	15	27	24 (1)	14	17
消 防 本 部	1	1						
消 防 総 務 課	6		1	1	1	2	1	
予 防 警 防 課	8		1	2	3	2		
通 信 指 令 課	9		1	2	2	3	1	
南 消 防 署	36 (1)		1	4	9	8 (1)	6	8
北 消 防 署	31		1	4	8	6	4	8
笠 原 消 防 署	13		1	2	4	3	2	1

()は、うち女性

年 齢 別 階 級

(平成30年4月1日現在)

階級別 年齢別	合 計	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
合 計	104 (1)	1	6	15	27	24 (1)	14	17
2 5 才 未 満	12							12
25才～30才未満	20					1	14	5
30才～35才未満	14				2	12		
35才～40才未満	6				2	4		
40才～45才未満	19 (1)				13	6 (1)		
45才～50才未満	17		1	6	9	1		
50才～55才未満	9		3	5	1			
5 5 才 以 上	7	1	2	4				

()は、うち女性

勤 続 年 数 別 階 級

(平成30年4月1日現在)

階級別 勤続年数別	合 計	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
合 計	104 (1)	1	6	15	27	24 (1)	14	17
5 年 未 満	17						4	13
5年～10年未満	21					7	10	4
10年～15年未満	18 (1)				5	13 (1)		
15年～20年未満	6				4	2		
20年～25年未満	14			2	11	1		
25年～30年未満	11		1	4	5	1		
30年～35年未満	10		3	5	2			
3 5 年 以 上	7	1	2	4				

()は、うち女性

消 防 職 員 資 格 取 得 状 況

(平成30年4月1日現在)

種別 \ 階級別		合 計	消防司令以上	消防司令補	消 防 士 長	消防副士長	消 防 士
運 転 免 許	大 型 自 動 車	90	22	27	20	13	8
	中 型 自 動 車	3	0	0	1	2	0
	普 通 自 動 車	102	22	27	23	13	17
消防設備士(甲種)		2	1	1	0	0	0
消防設備士(乙種)		10	3	7	0	0	0
危険物取扱者(乙丙種)		75	12	21	21	12	9
救急救命士(総数)		25	3	9	5	2	6
気管挿管救急救命士		16	3	9	3	1	0
薬剤投与救急救命士		18	0	9	5	2	2
救急Ⅱ課程		42	21	18	3	0	0
救急Ⅰ課程		42	21	18	3	0	0
救急標準課程		43	1	7	17	11	7
JPTEC		70	7	21	21	13	8
ICLS		24	3	11	6	2	2
PSLS		69	8	19	20	11	11
特殊無線(二級・三級)		96	22	27	23	13	11
酸欠・硫化水素危険作業主任者		40	9	20	9	2	0
衛生管理者		4	0	2	1	1	0
小型船舶操縦士		14	5	5	2	2	0
玉掛技能資格者		49	12	17	15	5	0
ガス溶接技能資格者		10	5	4	0	0	1
小型移動式クレーン		56	14	18	18	5	1
高圧ガス保安責任者		6	4	2	0	0	0
特定化学物質等作業主任者		18	2	14	2	0	0
予防技術資格者		20	7	6	6	0	1
防 災 士		5	1	1	2	0	1
※他市・他機関へ出向中の職員は除く。							

消 防 ポ ン プ 自 動 車 等 配 置 状 況

(平成30年4月1日現在)

種別		所属別	合 計	消 防 本 部			消 防 団
				本部南署	北 署	笠 原 署	
合 計			72	20	9	4	39
消 防 車 両	普 通 ポ ン プ 車		18	2	1		15
	タ ン ク 車		3	1	1	1	
	小型動力ポンプ付水槽車		1		1		
	は し ご 車		1	1			
	化 学 車		1		1		
	救 助 工 作 車		1	1			
	救 急 車		5	2	2	1	
	指 揮 車		2	1			1
	防 災 指 導 車		2	1			1
	小型動力ポンプ付積載車		19				19
小 計			53	9	6	2	36
そ の 他 の 車 両	水 防 車		1	1			
	査 察 車		5	2	2	1	
	資 材 運 搬 車		7	3	1	1	2
	そ の 他 の 車 両		3	3			
	小 計		16	9	3	2	2
機 械	小 型 動 力 ポ ン プ		3	2			1
	小 計		3	2			1

装 備 品

品 名	空 気 充 填 装 置	発 泡 器	背 負 式 散 水 装 置	組 立 式 水 槽	携 帯 発 電 機	合 成 界 面 活 性 剤	ク ラ ス A 消 火 薬 剤
所 属							
合 計	1	8	56	7	14	1,340 リットル	520 リットル
南 署	1	2	18	2	8	120 リットル	220 リットル
北 署		5	15	4	5	820 リットル	300 リットル
笠 原 署		1	23	1	1	400 リットル	0 リットル

消 防 水 利 状 況

		平成29年
合	計	3,151
消	火 栓	2,696
防 火 水 槽	40m ³ 以 上	307
	20m ³ ～ 40m ³ 未 満	35
そ	の 他	113

管 内 別 消 防 水 利

種別	区分	合 計	消 火 栓			防 火 水 槽						そ の 他			
			公 設	私 設	小 計	公 設		私 設		小 計		河 川 ・ 溝	プ ー ル	ご う ・ 池	小 計
						40m³ 以上	20m³ ゝ 40m³ 未満	40m³ 以上	20m³ ゝ 40m³ 未満	40m³ 以上	20m³ ゝ 40m³ 未満				
合 計		3,151	2,691	5	2,696	256	9	51	26	307	35	57	23	33	113
南 署		1,192	1,018	3	1,021	104	2	18	7	122	9	21	9	10	40
北 署		1,478	1,271	1	1,272	123	5	20	9	143	14	18	11	20	49
笠原署		481	402	1	403	29	2	13	10	42	12	18	3	3	24

消 防 団 現 勢

(平成30年4月1日現在)

種別 分団名	方面隊	人 員		機 械				
		定 員	現在員	普通ポンプ 自動車	小型動力 ポンプ付 積載車	小型動力 ポンプ	資材 運搬車	計
合 計		人 539	人 481(58)	台 15	台 19	台 1	台 2	台 37
団 本 部		13	13					
中 央 南 分 団	1	28	30(2)	1	1			2
中 央 北 分 団	2	28	25(2)	1	1			2
共 栄 分 団	2	28	27(2)	1	1			2
小 泉 分 団	3	28	28(2)	1	1			2
池 田 分 団	4	28	25(1)	1	1			2
市 之 倉 分 団	4	28	24(2)	1	1			2
滝 呂 分 団	1	28	27(2)	1	1		1	3
南 姫 分 団 (北 小 木)	3	40	32(2)	1	2			3
池 田 南 分 団	(廿 原)	4	26	1	1	1		2
	(諏 訪)							
	(三 の 倉)							
北 栄 分 団	2	28	17(1)	1	1			2
脇 之 島 分 団	1	28	28(2)	1	1			2
滝 呂 台 分 団	5	28	25(1)	1	1		1	3
根 本 分 団	3	28	26(2)	1	1			2
笠 原 第 1 分 団	5	45	32(2)	1	2			3
笠 原 第 2 分 団	5	45	38(2)	1	2			3
消 防 音 楽 隊		25	22(16)					
救命処置指導隊(メディックT)		37	36(16)					

()は、うち女性

消 防 団 員 報 酬 費

階級別 年度別	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団員	技術員 加算	機能別 団員
28年度 支給額	90,000	73,000	55,000	45,000	35,000	34,000	33,000	4,800	日当 2,000
29年度 支給額	90,000	73,000	55,000	45,000	35,000	34,000	33,000	4,800	日当 2,000

消 防 団 員 諸 手 当 支 給 状 況

区 分	出 動 手 当	訓 練 手 当	警 戒 手 当
支 給 額	2,000	2,000	2,000

在 職 年 数 別 団 員 数 （平成30年4月1日現在）

分団別 \ 在職年数別	合 計	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
合 計	481(58)	127(36)	126(17)	91(4)	55(1)	49	22	11
団 本 部	13	0	0	1	2	2	1	7
中 央 南 分 団	30(2)	12(2)	10	8	0	0	0	0
中 央 北 分 団	25(2)	9(2)	4	5	3	3	1	0
共 栄 分 団	27(2)	8(2)	5	3	4	7	0	0
小 泉 分 団	28(2)	10(2)	8	3	5	1	1	0
池 田 分 団	25(1)	6(1)	6	10	2	0	1	0
市 之 倉 分 団	24(2)	2(2)	8	6	2	4	2	0
滝 呂 分 団	27(2)	3(2)	6	4	9	5	0	0
南 姫 分 団	32(2)	7(2)	8	9	3	2	2	1
池 田 南 分 団	26(2)	8(2)	1	4	3	2	6	2
北 栄 分 団	17(1)	10(1)	2	1	1	2	0	1
脇 之 島 分 団	28(2)	4(2)	6	3	5	8	2	0
滝 呂 台 分 団	25(1)	8(1)	4	4	7	2	0	0
根 本 分 団	26(2)	12(2)	3	11	0	0	0	0
笠 原 第 1 分 団	32(2)	4(2)	13	7	4	3	1	0
笠 原 第 2 分 団	38(2)	6(2)	9	7	4	8	4	0
消 防 音 楽 隊	22(16)	8(6)	7(5)	5(4)	1(1)	0	1	0
救命処置指導隊(メディックT)	36(16)	10(4)	26(12)	0	0	0	0	0

()は、うち女性

年 齢 別 階 級 別 団 員 数 （平成30年4月1日現在）

年齢別 \ 階級別	合 計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
合 計	481(58)	1	5	23	16(1)	35	65(4)	336(53)
2 5 才 未 満	30(4)						2(1)	28(3)
2 5 才 ～ 3 0 才 未 満	31(5)							31(5)
3 0 才 ～ 3 5 才 未 満	57(6)						8(2)	49(4)
3 5 才 ～ 4 0 才 未 満	62(4)					5	15(1)	42(3)
4 0 才 ～ 4 5 才 未 満	98(3)			3	3	12	20	60(3)
4 5 才 ～ 5 0 才 未 満	67(3)			6	9(1)	14	14	23(2)
5 0 才 ～ 5 5 才 未 満	44(10)		1	10	2	1	1	29(10)
5 5 才 以 上	92(23)	1	4	4	2	2	5	74(23)

()は、うち女性

消 防 音 楽 隊 の 現 状

多治見市消防音楽隊は、昭和35年8月1日に25名の隊員で結成され、現在では隊員のすべてが消防職団員で、予備隊員10名を含め35名の隊員が活動しています。

市民の皆さんに親しまれ、愛される音楽隊になるため、多治見市の公的な式典・行事、消防行事、地域で行われる行事などにおいて演奏活動を行い、防火防災のPRに一役を担っています。

人 員 構 成

消 防 団 員	25名	合計35名
予 備 隊 員	10名	

演 奏 実 績

演 奏 回 数	18回
延 べ 人 員	296人

訓 練 実 績

訓 練 回 数	88回
延 べ 人 員	1, 063人

消 防 団 車 両 等 配 置 状 況

区分 分団名	種 別	社 名	年式	種別
中 央 南 分 団	普 通 ポ ン プ 車	日 野	H.15	A2
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	ト ヨ タ	H.24	B3
中 央 北 分 団	普 通 ポ ン プ 車	日 野	H.17	A2
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	ト ヨ タ	H.21	B3
共 栄 分 団	普 通 ポ ン プ 車	日 野	H.17	A2
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	ト ヨ タ	H.24	B3
小 泉 分 団	普 通 ポ ン プ 車	日 野	H.18	A2
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	ト ヨ タ	H.21	B3
池 田 分 団	普 通 ポ ン プ 車	日 野	H.15	A2
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	ト ヨ タ	H.25	B3
市 之 倉 分 団	普 通 ポ ン プ 車	日 野	H.20	A2
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	ト ヨ タ	H.24	B3
滝 呂 分 団	普 通 ポ ン プ 車	日 野	H.14	A2
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	ト ヨ タ	H.25	B3
南 姫 分 団 (北 小 木)	普 通 ポ ン プ 車	日 野	H.19	A2
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	ト ヨ タ	H.21	B3
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	ト ヨ タ	H.17	B3
池 田 南 分 団 (廿 原) (諏 訪) (三 の 倉)	普 通 ポ ン プ 車	日 野	H.27	A2
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	ト ヨ タ	H.19	B3
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	ト ヨ タ	H.18	B3
北 栄 分 団	普 通 ポ ン プ 車	日 野	H.28	A2
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	ト ヨ タ	H.24	B3
脇 之 島 分 団	普 通 ポ ン プ 車	日 野	H.29	A2
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	ト ヨ タ	H.29	B3
滝 呂 台 分 団	普 通 ポ ン プ 車	日 野	H.10	A2
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	ト ヨ タ	H.10	B3
根 本 分 団	普 通 ポ ン プ 車	日 野	H.17	A2
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	ト ヨ タ	H.17	B3
笠 原 第 1 分 団	普 通 ポ ン プ 車	日 野	H.21	A2
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	ト ヨ タ	H.10	B3
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	ト ヨ タ	H.26	B3
笠 原 第 2 分 団	普 通 ポ ン プ 車	ト ヨ タ	H.6	A2
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	ト ヨ タ	H.7	B3
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	ト ヨ タ	H.28	B3

消 防 団 の 出 動 状 況

区分 年度別	合 計		消 防 団									
			火 災		風 水 害 等 災 害		訓 練		救 命 処 置 指 導 隊		そ の 他	
	回 数	延 人 員	回 数	延 人 員	回 数	延 人 員	回 数	延 人 員	回 数	延 人 員	回 数	延 人 員
26	1,473	15,571	23	391	2	16	889	11,854	346	937	213	2,373
27	1,575	13,191	22	824	4	31	1,013	9,026	375	1,070	161	2,240
28	1,994	16,232	13	705	4	305	1,488	12,344	370	1,095	470	2,712
29	1,638	15,235	15	609	9	211	853	10,600	292	1,059	469	2,756

消 防 団 の 訓 練 概 要

種 別 回数・人員	合 計	操 法 訓 練	文 化 財 防 火 デ ー 消 防 訓 練	多 治 見 市 消 防 協 会 競 練 会	水 防 訓 練	月 例 訓 練
回 数	853	142	107	186	2	416
延人員	10,600	1,717	1,637	2,854	191	4,201

消 防 団 主 要 行 事

月	行 事 名	月	行 事 名
1月	消防出初式	7月	機関員講習会 交通安全運転研修会 東濃五市操法合同訓練 岐阜県消防操法大会出場分団壮行会 市制記念花火大会警備
2月	文化財防火デー永保寺防火訓練 指揮幹部科分団指揮課程 消防団員幹部教育上級幹部科 団本部・分団長会議	8月	第66回岐阜県消防操法大会 多治見市防災訓練
3月	分団管内火災予防広報他 (春の火災予防運動期間中)	9月	消防団活性化委員会
4月	辞令交付式 岐阜県消防操法大会出場分団訓練 開始式 指導員科(前期)	10月	消防団員幹部教育初級幹部科 指揮幹部科現場指揮課程 緊急車両運転講習会 団本部・分団長会議
5月	多治見市消防協会消防競練会 東濃西部地区消防団・消防本部連絡 協議会 団本部・分団長会議	11月	消防団特別点検 岐阜県消防定例表彰式 指導員科(後期)
6月	分団長研修会 新入団員研修会 多治見市水防訓練 東濃地区消防連絡協議会	12月	年末招集・年末夜警

救 急 ・ 救 助



救 急 救 命 講 習 会 状 況

近年、救急需要の高度化とともに、市民に対する応急手当の普及が重要となり、多治見市消防本部では、救命率の一層の向上を図るため、救急救命講習(90分以上の講習)受講者年間1万人を目標に救命講習を実施し、日本のシアトルを目指しています。

※救命率が世界一といわれるアメリカのシアトルは人口の70%が救命講習を受けており、心臓発作等で倒れた人のそばに居合わせた人が、心肺蘇生法等による救命措置を行う率は、50%を超えています。

講習別 実施結果	普通救命講習Ⅰ	普通救命講習Ⅱ	普通救命講習Ⅲ	上級救命講習	応急手当普及員講習	応急手当指導員講習	救命入門コース (90分講習)	合 計
実 施 回 数	48	0	4	3	5	3	393	456
受 講 者 数	1,380	0	54	30	53	29	8,995	10,541

A E D 設 置 施 設 状 況(多治見市保有)

救命率の向上を図るため、AED(自動体外式除細動器)の設置を推進しています。

業種別 設置別	公 共 施 設	学 校 (幼・保育園を含む)	集会場・公民館	そ の 他	合 計
A E D 設 置 施 設 数	53	51	35	10	149

消防本部における救急救命訓練用資器材の保有状況

特 定 行 為 用 訓 練 人 形	心 肺 蘇 生 用 訓 練 人 形 (成 人 用)	心 肺 蘇 生 用 訓 練 人 形 (小 児・幼 児)	気 管 管 理 ト レ ー ナ ー	A E D ト レ ー ナ ー
2	62	19	2	38

救助用機械器具等の保有状況

種別		一般救助用器具						重量物排除用器具					切断用器具					
備品名		かぎ付はしご	三連はしご	金属製折りたたみはしご	空気式マット	救命索発射銃	救助用縛帯	油圧ジャッキ	油圧スプレッダー	可搬ウインチ	マット型空気ジャッキ	大型油圧スプレッダー	ガス溶断器	油圧切断機	エンジンカッター	チェンソー	酸素切断機	マルチカッター
数量	南	3(1)	3(1)	1(1)	1	1(1)	6(4)	1(1)	1(1)	2(1)	1(1)	1(1)		1(1)	4(1)	2(1)		1(1)
	北	1	4				3	7		1					3	4		
	笠	1	1				1			2					1	3		

種別		切 断 用 器 具				破壊用器具				測定用器具					呼吸保護用器具				担架			
備 品 名		鉄線カッター	空気鋸	大型油圧切断機	空気切断機	万能斧	ハンマー	削岩機	ハンマードリル	一酸化炭素測定器	可燃性ガス測定器	有毒性ガス測定器	酸素濃度測定器	放射線測定器	空気呼吸器	防塵マスク	簡易呼吸器	送排風機	平担架	バスケツト型担架	バーティカル担架	スケツトストレッチャー
数 量	南	5(1)	1(1)	1(1)	1(1)	6(2)	1(1)	2(1)	2(1)	4(2)	5(1)	4(1)	3(1)	3(2)	21(5)	5(5)		1(1)	3(1)	2(1)	2(1)	1(1)
	北	6				7	1	1		1	1	1	1		17				1	1		
	笠	4				3	2			1	1	1	1		6				1			

種別		隊員保護用器具								水難救助用器具				検索用器具	その他の救助用器具								
備品名		耐電手袋	耐電衣	耐電ズボン	耐電長靴	耐熱服	防護衣（レベルA）	防護衣（レベルB）	防護衣（レベルC）	救命胴衣	救命浮環	救命ボート	船外機	簡易画像探索機	車両移動器具	緩降機	ロープ登降機	応急処置用セット	携帯投光器	救助用降下機	可搬式投光器	都市型ロープ式救助資器材一式	
数量	南	7(4)	4(2)	4(2)	5(2)	4(2)	5	5(5)	17	106(2)	10(1)	3	1		2(1)	1(1)		2(1)	5(1)	5(5)	1(1)	1(1)	
	北	2			1			15	79	29	6	1							3				
	笠	2	1	1	2	1		22		13	1								1				

()は、うち救助工作車積載数量

都市型ロープレスキュー資機材の保有状況

多治見市では、都市型ロープレスキューを平成21年2月1日から運用開始しました。また、TRR(多治見ロープレスキュー)マニュアルを作成し資機材の管理や救助活動を実施しています。

分類	名称	数量	分類	名称	数量
ロープ	スタティックロープ (セーフティスーパー)	6	アッセンダー	レスキューセンダー	2
	パワーロック	4		アッセンション	4
	スリング(60cm)	10	その他の器具	ピタゴール	1
	スリング(120cm)	10		ポ一(S)	1
	スリング(180cm)	10		ポ一(M)	2
				ポ一(L)	2
カラビナ	スチール製 O型カラビナ(小型)	20		スイベル(S)	1
	ステンレス製 O型カラビナ(大型)	6		スイベル(L)	2
	アルミ製 (オーケー)	22		チェストハーネス	1
	アルミ製 (エーエムディー)	5		シットハーネス	2
	アルミ製 (ウィリアム)	4		フルボディーハーネス	5
	アルミ製 (バルカン)	4		グリヨン(2m)	5
プーリー	レスキュー	4		グリヨン(20m)	2
	ツイン	4		アサップ	2
	プロトラクション	2		デエイジーチェーン	2
	ミニトラクション	2		エクスプレス	2
	スイベルプーリー	2		ロールモジュール	1
				ポルタージュ	3
ディッセンダー	ヒュイット	2		パーソナル	6
	ジェットマン	2		アブソーバー	2
	アイディー	3			
	ストップ	2			

予

防



防火対象物数・予防査察状況・防火管理者実態一覧

			防火対象物数 (棟数)	査察数 (棟数)	防火管理者	
					対象物数 (件数)	届出済数
合 計			4,234	1,521	932	668
1項	イ	映 画 館 ・ 観 覧 場	4	4	3	3
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	89	57	83	56
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ	1	4		
	ロ	遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル	14	12	9	9
	ハ	性 風 俗 関 連 店 舗 等				
	ニ	個 室 関 係 等 (個 室 ビ デ オ 等)	3	2	2	2
3項	イ	料 理 店	2	2	1	1
	ロ	飲 食 店	120	56	123	90
4項		百 貨 店 ・ 店 舗 等	173	100	110	81
5項	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所	21	16	6	6
	ロ	共 同 住 宅 ・ 寄 宿 舎	618	57	63	46
6項	イ(1)	病 院 ・ 診 療 所	4	6	27	25
	イ(2)		4	2		
	イ(3)		3	1		
	イ(4)		48	17		
	ロ(1)	老 人 ホ ー ム 等	44	51	48	49
	ロ(2)					
	ロ(3)					
	ロ(4)					
	ロ(5)		11	11		
	ハ(1)	老人デイサービスセンター・保育所	20	14	49	36
	ハ(2)					
	ハ(3)		18	17		
	ハ(4)		5	5		
	ハ(5)		19	17		
	ニ	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校	13	13	11	10
7項		学 校 ・ 各 種 学 校	132	72	42	34
8項		図 書 館 ・ 博 物 館	4	3	2	1
9項	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場				
	ロ	公 衆 浴 場	6	2	1	1
10項		車 両 の 停 車 場				

用 途		種 別	防火対象物数 (棟数)	査察数 (棟数)	防 火 管 理 者	
					対象物数 (件数)	届出済数
11項		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	53	24	27	17
12項	イ	工 場 ・ 作 業 場	1295	490	27	22
	ロ	映 画 ・ テ レ ビ ス タ ジ オ				
13項	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	28	2	1	1
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫				
14項		倉 庫	647	97	6	5
15項		前各項に該当しない事業所	329	134	62	44
16項	イ	複 合 用 途 （ 特 定 ）	346	170	209	115
	ロ	イ以外の複合用途対象物	158	61	19	14
17項		重要文化財・史跡・重要美術品	1	1	1	
18項		延長50m以上のアーケード	1	1		

防火管理講習受講者数

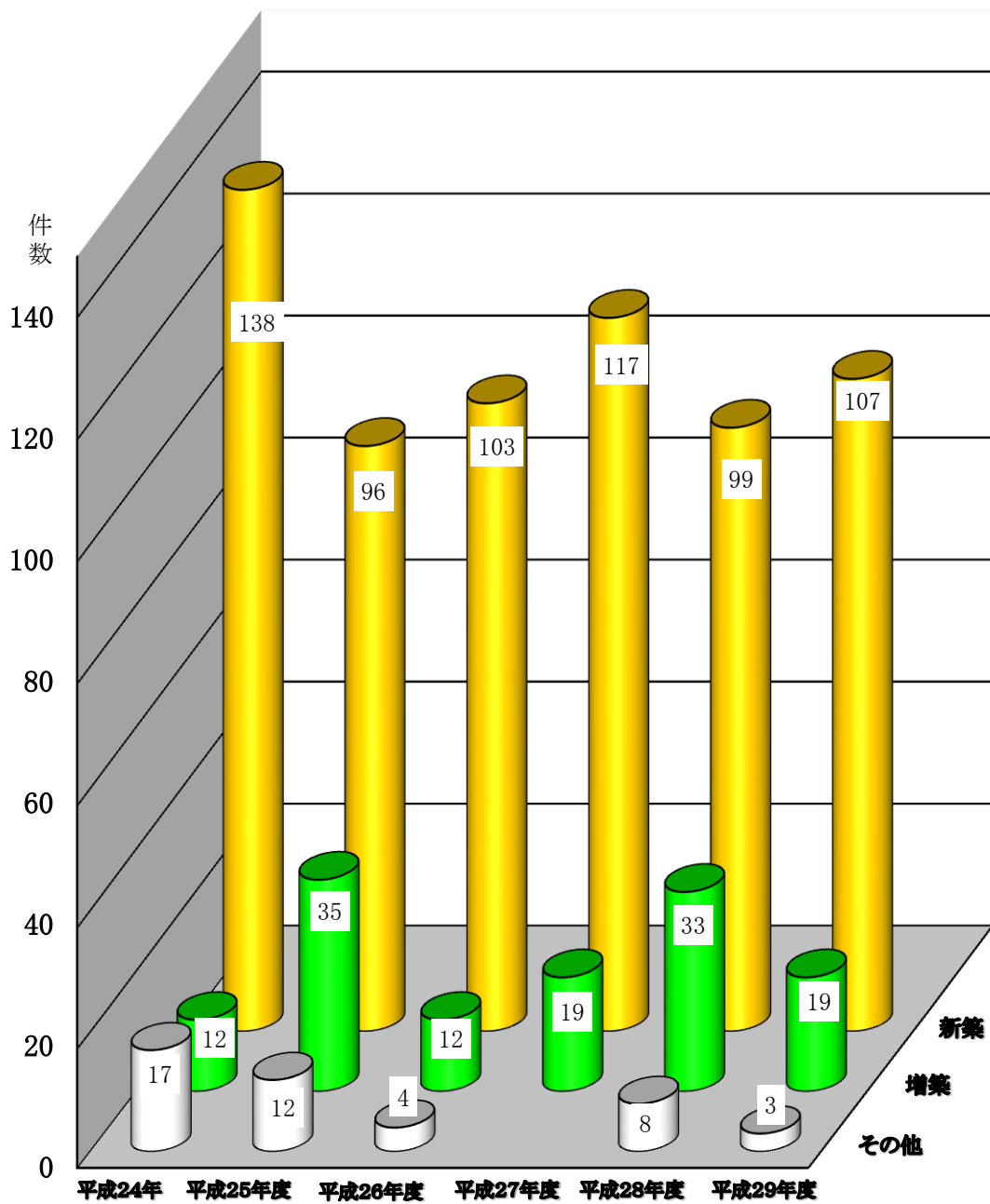
	甲種防火管理者講習	乙種防火管理者講習	甲種防火管理者再講習
昭和37年からの総数	5,330	497	105
平成29年度	132	35	0

用途別建築同意及び事務処理状況

		(月)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
合 計		129	9	6	11	8	14	14	8	19	6	7	17	10
1項	イ	映 画 館 ・ 観 覧 場												
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場												
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ												
	ロ	遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル												
	ハ	性 風 俗 関 連 店 舗 等												
	ニ	個室関係等（個室ビデオ等）												
3項	イ	料 理 店												
	ロ	飲 食 店	4			1	2						1	
4項		百 貨 店 ・ 店 舗 等	10	2	1			3			1	2	1	
5項	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所												
	ロ	共 同 住 宅 ・ 寄 宿 舎	9		1	1	1		1	2	1		2	
6項	イ(1)	病 院												
	イ(2)													
	イ(3)													
	イ(4)		1					1						
	ロ(1)	老 人 ホ ー ム 等	1			1								
	ロ(2)	救 護 施 設												
	ロ(3)	乳 児 院												
	ロ(4)	障 害 児 入 所 施 設												
	ロ(5)	障 害 者 支 援 施 設	2	1									1	
	ハ(1)	老人デイサービスセンター・保育所												
	ハ(2)	更 生 施 設												
	ハ(3)	除 算 施 設 、 保 育 所	4				1							3
	ハ(4)	児 童 発 達 支 援 セ ン タ ー	1			1								
	ハ(5)	障 害 者 支 援 施 設	1											1
	ニ	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校	1						1					
7項		学 校 ・ 各 種 学 校	1								1			
8項		図 書 館 ・ 博 物 館												
9項	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場												
	ロ	公 衆 浴 場												
10項		車 両 の 停 車 場												
11項		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	1				1							

用 途			月 別	合 計	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
12項	イ	工 場 ・ 作 業 場		7	2		2							1	1	1
	ロ	映 画 ・ テ レ ビ ス タ ジ オ														
13項	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場														
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫														
14項		倉 庫		5	1				1	1				1		1
15項		前各項に該当しない事業所		31	1	2	2	1	2	1	4	10		1	5	2
16項	イ	複 合 用 途 （ 特 定 ）		6					2		1	1		1	1	
	ロ	イ以外の複合用途対象物														
17項		重要文化財・史跡・重要美術品														
18項		延長50m以上のアーケード														
		専 用 住 宅		27	2	2	3	2	2	4	1	5	2	1	1	2
		そ の 他 ・ 長 屋		17	1	1	2	1	2	4		1	1		4	

年別・工事別建築同意状況



※ 平成25年度からは年度集計

消 防 用 設 備 等 検 査 状 況

用 途		設備別	合 計	消 火 器 具	屋 内 消 火 栓 設 備	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	水 噴 霧 消 火 設 備	屋 外 消 火 栓 設 備	動 力 消 防 ポ ンプ 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	ガ ス 漏 れ 火 災 警 報 設 備	漏 電 火 災 警 報 器	火 災 機 関 へ 通 報 す る 設 備	非 常 警 報 器 又 は 備 は	非 常 警 報 器 又 は 備 は	避 難 器 具	誘 導 灯 及 標 識	誘 導 灯 及 標 識	消 防 用 水 備	排 煙 設 備	連 結 散 水 設 備	連 結 送 水 管	非 常 コ ン セ ン ト 設 備	無 線 通 信 補 助 設 備
合 計			278	45	5	11	4	1	9	92			34	21		52					3	1		
1項	イ	映 画 館 ・ 観 覧 場	2														2							
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	4	1		1				1				1										
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ																						
	ロ	遊 技 場 ・ ダンスホール																						
	ハ	性 風 俗 関 連 店 舗 等																						
	ニ	個室関係等(個室ビデオ等)																						
3項	イ	料 理 店																						
	ロ	飲 食 店	14	5						3				1		5								
4項		百 貨 店 ・ 店 舗 等	28	8		1				6				5		8								
5項	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所	3							1							1						1	
	ロ	共 同 住 宅 ・ 寄 宿 舎	10	2			1			4							1				2			
6項	イ(1)	病 院 ・ 診 療 所	8			2				2			3				1							
	イ(2)		1										1											
	イ(3)																							
	イ(4)		4	2						1							1							
	ロ(1)	老 人 ホ ー ム 等	28			1				3			22				1				1			
	ロ(2)																							
	ロ(3)																							
	ロ(4)		2											1			1							
	ロ(5)		11	2		3				2			3				1							
	ハ(1)	老人デイサービスセンター・保育所	1														1							
	ハ(2)																							
	ハ(3)		9	2						1			1	1			4							
	ハ(4)		3	1													2							
	ハ(5)		6							4							2							
	ニ	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校	1												1									
7項		学 校 ・ 各 種 学 校	11	2	1					2			2	2		2								
8項		図 書 館 ・ 博 物 館																						
9項	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場																						
	ロ	公 衆 浴 場																						
10項		車 両 の 停 車 場																						
11項		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	8	2			1			1				3			1							
12項	イ	工 場 ・ 作 業 場	44	3	2		1	1	6	26			1				4							
	ロ	映 画 ・ テレビスタジオ																						
13項	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	1							1														
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫																						
14項		倉 庫	15	2	1				2	8							2							
15項		前各項に該当しない事業所	24	8	1		1			7				3			4							
16項	イ	複 合 用 途 （ 特 定 ）	35	3		3			1	18			1	2			7							
	ロ	イ以外の複合用途対象物	4	2										1			1							
17項		重要文化財・史跡・重要美術品	1							1														
18項		延長50m以上のアーケード																						

広 報 公 聴 活 動 状 況

	合 計		市 民		事業所関係		学 校 (幼・保育園を含む)		消防団	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
合 計	675	36,359	115	5,569	453	11,762	106	18,978	1	50
防 災 訓 練	82	5,133	68	4,023	7	304	6	756	1	50
消 防 訓 練 (避 難 ・ 消 火 等)	565	29,614	43	1,434	445	11,428	77	16,752	0	0
防 火 教 室 (講 話 ・ 映 画 等)	4	96	1	28	0	0	3	68	0	0
防 火 パ レ ード	1	155	0	0	0	0	1	155	0	0
そ の 他	23	1,361	3	84	1	30	19	1,247	0	0

少 年 消 防 ク ラ ブ の 現 況

クラブ名	結成年月日	人 員
滝呂小学校少年消防クラブ	昭和56. 4. 1	113

女 性 防 火 ク ラ ブ の 現 況

クラブ名	結成年月日	人 員
多治見市女性防火クラブ	昭和42. 4. 1	26

幼 年 消 防 ク ラ ブ の 現 況

区分 クラブ名	結成年月日	人 員	区分 クラブ名	結成年月日	人 員
精華小学校附属 愛児幼稚園	昭和56年6月9日	70	姫保育園	昭和58年8月20日	92
養正小学校 附属幼稚園	昭和56年6月10日	46	明和幼稚園	昭和58年8月20日	95
前畑保育園	昭和56年6月11日	114	堇根本幼稚園	昭和58年8月21日	120
堇幼稚園	昭和56年7月1日	119	堇南幼稚園	昭和58年8月21日	30
小泉保育園	昭和56年7月9日	43	多治見 ひまわり幼稚園	昭和60年11月1日	91
北野保育園	昭和56年7月9日	59	笠原小学校 附属幼稚園	昭和60年11月1日	55
市之倉保育園	昭和56年7月9日	51	笠原保育園	昭和60年11月1日	76
双葉保育園	昭和56年7月10日	52	多治見 大和幼稚園	平成8年5月1日	75
けいなん保育園	昭和56年7月10日	40	池田保育園	平成15年4月1日	40
共栄保育園	昭和56年7月10日	36	ジョイフル多治見 こども園	平成25年5月1日	24
旭ヶ丘保育園	昭和56年7月10日	63	星ヶ台保育園	平成28年4月1日	99
昭和小学校 附属幼稚園	昭和58年1月20日	39			

危険物施設状況

製造所等の区分 項目		危険物施設数	種別施設数	数 量 別 施 設 数							査 察 件 数	申 請 ・ 承 認	届 出	
			第 4 類	5 倍 以 下	5 倍 を 超 え 10 倍 以 下	10 倍 を 超 え 50 倍 以 下	50 倍 を 超 え 100 倍 以 下	100 倍 を 超 え 150 倍 以 下	150 倍 を 超 え 200 倍 以 下	200 倍 を 超 え る も の				
合 計		344	344	141	73	71	34	4	4	17	177	19	104	
製造所														
貯蔵所	小 計		249	249	112	57	46	32	1	0	1	124	10	56
	屋 内		24	24	16	7	1					9		4
	屋外タンク		67	67	4	22	29	11			1	25		19
	屋内タンク		27	27	7	15	5					11		5
	地下タンク		56	56	33	9	11	2	1			22	5	14
	簡易タンク		9	9	9							3		1
	移動タンク		58	58	39			19				52	4	10
	屋 外		8	8	4	4						2	1	3
取扱所	小 計		95	95	29	16	25	2	3	4	16	53	9	48
	給油	営業用	23	23					3	4	16	21	2	31
		自家用	35	35	10	5	18	2				19	4	9
	販 売		3	3	3									
	一 般		34	34	16	11	7					13	3	8

各種届出状況

区 分		届出数
合 計		3,274
防 火 管 理 者 選 解 任 届		279
消 防 計 画 届		345
防火対象物定期点検報告書		45
消防用設備等点検結果報告書		975
圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱届		29
防火対象物使用開始届		93
炉設置届	液 体 燃 料	1
	電 気	14
	気 体 燃 料 (ガ ス)	14
	固 体 燃 料	
ボ イ ラ ー 設 置 届		4
乾 燥 設 備 設 置 届		9
電気設備設置届	変 電	20
	発 電	5
	蓄 電	13
	ネ オ ン 管 灯	
水素ガス充てん気球設置届		
火災とまぎらわしい行為		149
煙 火 消 費 届		7
催 物 開 催 届		7
少量危険物等貯蔵取扱届		25
喫 煙 等 許 可 申 請		
道 路 工 事 届		253
水 張 検 査 申 請		
証 明 書 交 付		17
水 道 断 水 届		
訓 練 実 施 届		799
遠 隔 移 報 シ ス テ ム 届		1
露 店		131
そ の 他		39

予防関係調査状況

区 分		調査数
合 計		315
火 災 原 因		42
火 災 事 故		2
危 険 物		8
液 化 石 油 ガ ス		2
消 防 用 設 備 等		4
防 火 対 象 物 使 用 開 始		58
炉	液 体 燃 料	2
	電 気	2
	気 体 燃 料 (ガ ス)	2
	固 体 燃 料	
ボ イ ラ ー		3
乾 燥 設 備		5
電気設備	変 電	6
	発 電	2
	蓄 電	4
	ネ オ ン 管 灯	
水 素 ガ ス 充 て ん 気 球		
煙 火		5
催 物		3
た き 火		11
枯 草		7
文 化 財		
少 量 危 険 物		11
毒 物 ・ 劇 物		
指 定 可 燃 物		2
火 災 予 防		18
そ の 他		116

高圧ガス製造施設等施設数

根拠法令 (高圧ガス保安法)	区 分	施 設 数
一 般 則	第 1 種 製 造 所	1
	第 2 種 製 造 所	18
	第 1 種 貯 蔵 所	0
	第 2 種 貯 蔵 所	4
	販 売 事 業 所	49
	特 定 高 圧 ガ ス 消 費 者	3
	合 計	75
液 石 則	第 1 種 製 造 所	7
	第 2 種 製 造 所	2
	第 1 種 貯 蔵 所	7
	第 2 種 貯 蔵 所	1
	販 売 事 業 所	28
	特 定 高 圧 ガ ス 消 費 者	8
	合 計	53
冷 凍 則	第 1 種 製 造 所	1
	第 2 種 製 造 所	23
	販 売 事 業 所	0
	合 計	24
工業用液化石油ガス 消費者指導要綱	工 業 用 液 化 石 油 ガ ス 消 費 設 備	143

火薬類事業関係

対 象	区 分	件 数
火 薬 庫	1 級	2
	2 級	0
	3 級	0
	合 計	2
庫外貯蔵所	販 売 業 者	1
	土 木 業 者	0
	玩 具 煙 火	0
	そ の 他	0
	合 計	1
消費場所	採 石	5
	土 木	0
	電 源 開 発	0
	そ の 他	2
	合 計	7
販売業者	火薬・爆発	1
	火 工 品	1
	紙 雷 管	0
	合 計	2

中・高層建築物状況

(棟数)

区分	業態(主なもの)	合計	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	20階
1項	イ 劇場・観覧場														
	ロ 公会堂・集会場														
2項	イ キャバレー・ナイトクラブ														
	ロ 遊技場・ダンスホール														
	ハ 性風俗関連店舗等														
	ニ 個室関係(個室ビデオ等)														
3項	イ 料理店														
	ロ 飲食店	1	1												
4項	百貨店・店舗等	4	4												
5項	イ 旅館・ホテル・宿泊所	7		2	2	1	2								
	ロ 共同住宅・寄宿舎	159	94	16	11	7	3	3	7	7	4	2	1	3	1
6項	イ 病院・診療所	6	3	1		2									
	ロ 老人ホーム等	9	7	1		1									
	ハ 老人デイサービスセンター・保育所														
	ニ 幼稚園・特別支援学校														
7項	学校・各種学校	20	18	2											
8項	図書館・博物館														
9項	イ 蒸気浴場・熱気浴場														
	ロ 公衆浴場														
10項	車両の停車場														
11項	神社・寺院・教会														
12項	イ 工場・作業場	13	11		2										
	ロ 映画・テレビ・スタジオ														
13項	イ 自動車車庫・駐車場	1		1											
	ロ 飛行機又は回転翼航空機の格納庫														
14項	倉庫	7	4	2	1										
15項	前各項に該当しない事業所	36	23	2	5	3	2	1							
16項	イ 複合用途(特定)	54	29	13	5	2	1	2		1		1			
	ロ イ以外の複合用途対象物	31	16	5	5	1	1		3						
17項	重要文化財・史跡														
18項	延長50m以上のアーケード														
合計		348	210	45	31	17	9	6	10	8	4	3	1	3	1
南 署		141	83	15	17	5	4	3	5	5		2	1	1	
北 署		198	120	28	14	12	5	3	5	3	4	1		2	1
笠原署		9	7	2											

(注) 共同住宅・消防用設備等設置対象外も含む。

防 災



自主防災組織

昭和54年から各町内会を単位とした自主防災組織の編成を推進し、毎年自主防災組織を中心に各種訓練、また総合的な防災訓練を実施しています。

自主防災組織訓練状況

多治見市総合防災訓練		個別訓練	
回数	参加者	回数	参加者
1	270	43	3,202

指定避難所・指定緊急避難場所

『指定避難所』
災害で家に戻れなくなった被災者等が、一定期間生活する場所として、風水害時84か所、地震災害時45か所を指定しています。

『指定緊急避難場所』
災害が発生または発生の恐れがある場合に、その危険から逃れるために一時的に身体等の安全を確保するための場所として風水害時56か所、地震災害時67か所を指定しています。

指定施設は主に幼稚園、保育園、小中学校、高校、公民館、児童館です。その他にも、図書館や体育館などのその他公共施設や、民間事業所も数箇所指定されています。

防災倉庫設置状況

地震などの災害に必要な、防災資機材や食料品の確保及び充実化に努め、多治見市内では、各地区・小中学校・公共施設など53か所に防災資機材倉庫を設置し、防災資機材などを常に備蓄しています。

防 災 行 政 無 線 施 設 状 況

災害時における住民等への情報伝達手段として、昭和59年から防災行政無線施設を開局しています。

同 報 系 無 線 施 設		移 動 系 無 線 施 設	
固定局(市役所駅北庁舎)	1局	基地局(市役所本庁舎)	1局
固定局遠隔制御器(市役所本庁舎・通信指令課)	2台	移動局(車載型・可搬型・携帯型)	81局
子局	191局		

街 頭 消 火 器 設 置 状 況

大地震による火災対策の一環として、昭和54年度から市内全域に街頭消火器(粉末消火器10型)を3,207基設置し、地域住民による初期消火の強化促進を図っています。

初 期 消 火 用 放 水 器 具 設 置 状 況

初期消火器具として、消防署から遠い地域等の消火栓に地域住民用の放水器具を設置し、自主防災組織の強化促進を図っています。
現在は多治見市内に207基設置されています。

緊急通報システム



救急医療情報システム



緊急通報システム

このシステムは、ひとり暮らしのお年寄りや、体の不自由な方を対象として運用開始されました。緊急時等に専用機器の非常ボタンまたは緊急発信器(ペンダント型)を押せば、自動的に消防本部通信指令課に通報されるシステムです。

現在、291世帯に設置されており、24時間体制で「もしも」の時に対応しています。

校区別加入者数

校区別	合計	養正	昭和	脇之島	精華	共栄	小泉	根本	北栄	池田	南姫	滝呂	市之倉	笠原
加入者数	291	33	27	3	35	8	6	35	17	17	24	32	11	43

月別受信状況

月別 種別	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計	183	7	9	8	21	18	7	11	14	30	33	15	10
火災	0												
救急	35	2	1	2	2	2	1	2	3	4	8	5	3
相談	9				5	1			1	1	1		
誤報	63	5	3	1	4	6	4	8	6	13	8	2	3
電源異常	25		1	3	3	2	1		2	5	6	2	
試験	40	0	4	2	4	4	1	1	2	4	9	6	3
その他	11				3	3				3	1		1

救 急 医 療 情 報 シ ス テ ム

傷病者の症状に、対応可能な医療機関を案内する地域救急医療情報センターで、使用しています。救急医療体制の円滑な運営に期するため、昭和58年12月1日から運用しています。

センターへの問い合わせ件数は増加傾向で、土日祝日と夜間の問い合わせが多いです。平成28年度は3,365件で、前年度から125件増加しています。

多治見地域救急医療情報センター 0572-23-3799
にいさんみんなのきゅうきゅう

月 別 医 療 案 内 状 況

月別 区分	合 計	内 科	小 児 科	外 科	整 形 外 科	産 婦 人 科	眼 科	耳 鼻 科	皮 膚 科	泌 尿 器 科	脳 外 科	呼 吸 器 科	呼 吸 外 科	消 化 器 科	循 環 器 科	心 臓 外 科	そ の 他
合 計	2,888	672	895	351	410	16	178	92	59	22	67	5	2	26	12	0	81
4月	190	31	62	26	27	1	16	11	3		6			2			5
5月	313	66	97	35	54	2	17	11	7	1	6			2	1		14
6月	243	48	87	33	34	1	9	2	8	3	10			3	1		4
7月	289	64	82	60	33	2	16	6	5	3	2			4	2		10
8月	270	53	80	39	31	2	23	10	10	4	4	1		3			10
9月	199	35	60	24	37	3	11	8	6	2	5			4			4
10月	179	38	54	17	36		11	7	3	1	3	2		1	2		4
11月	160	23	48	19	22		17	4	4	2	9	1		2	1		8
12月	253	53	85	28	36	3	24	10	3	1	3			2			5
1月	350	133	97	19	50	2	15	8	3		8			2	3		10
2月	251	82	92	14	27		12	6	4	5	3			1	2		3
3月	191	46	51	37	23		7	9	3		8	1	2				4

通 信 体 制



無 線 機 配 置 状 況

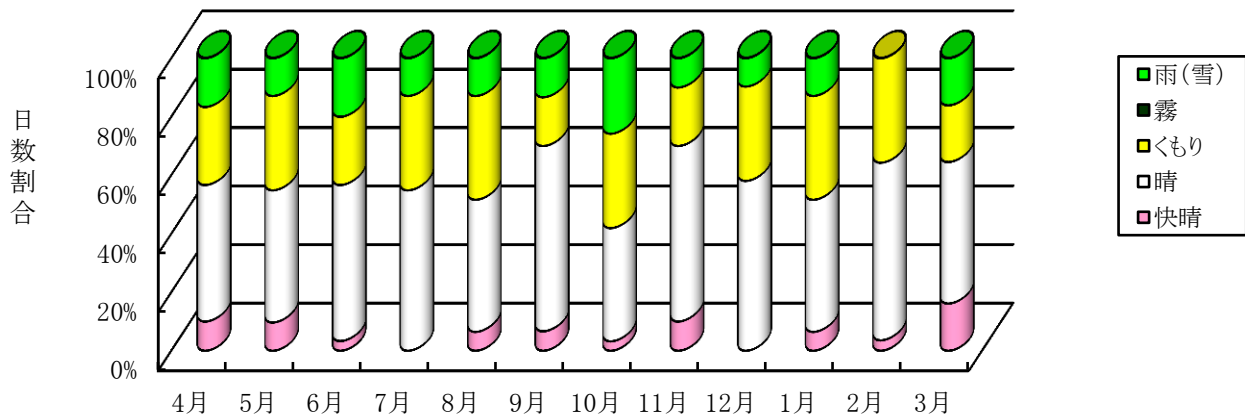
種 別 配 置	基地局	計	無 線 機		
			車 載 型	可 搬 型	携 帯 型
消 防 本 部	1	0	0	0	0
南 消 防 署	0	31	15	2	14
北 消 防 署	0	20	9	1	10
笠 原 消 防 署	0	11	5	1	5
署 活 系	0	17	0	0	17
合 計	1	79	29	4	46

※ 平成27年4月1日からデジタル無線の運用を開始しました。

気 象 統 計



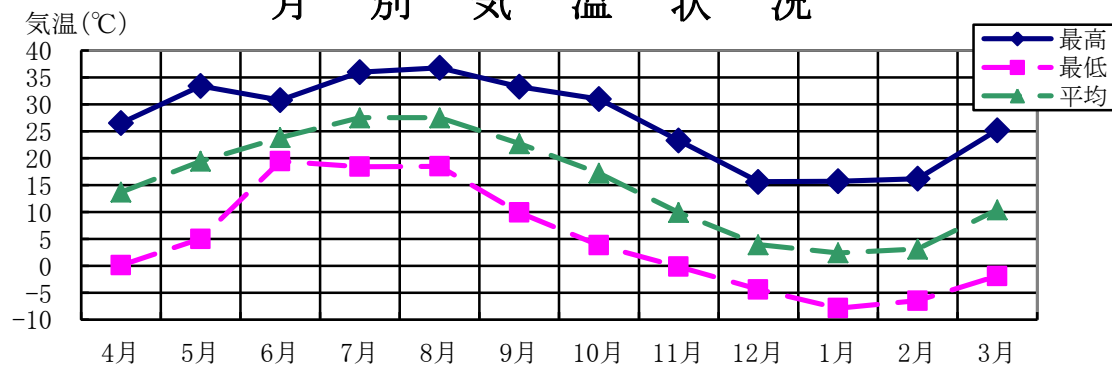
天 候 別 日 数 状 況



(9時の天候日数)

種別 \ 月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
雨(雪)	5	4	6	4	4	4	8	3	3	4		5
霧												
くもり	8	10	7	10	11	5	10	6	10	11	10	6
晴	14	14	16	17	14	19	12	18	18	14	17	15
快 晴	3	3	1		2	2	1	3		2	1	5

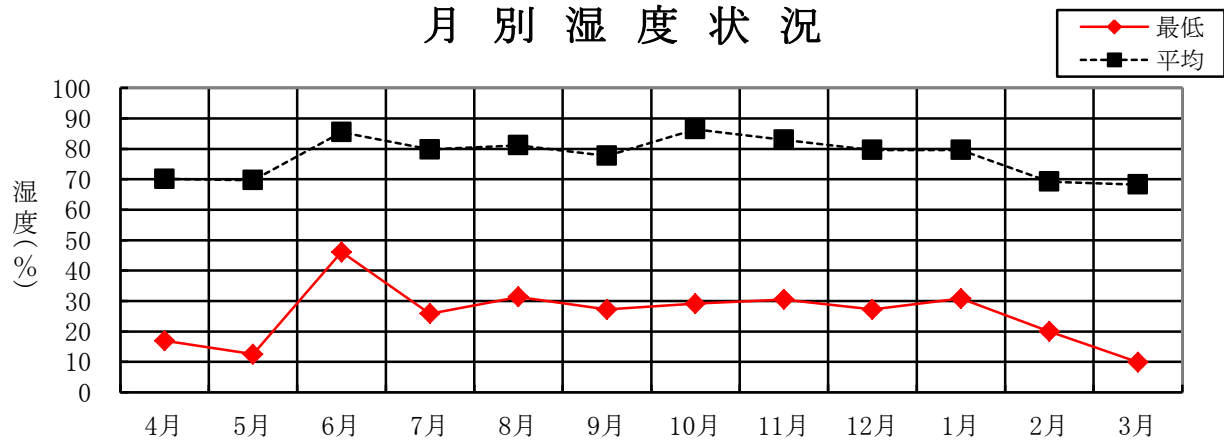
月 別 気 温 状 況



区分 \ 月別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
気温(℃)	最高	26.5	33.4	30.8	36.0	36.8	33.3	31.0	23.3	15.6	15.7	16.2	25.2	
	最低	0.1	5.0	19.4	18.4	18.5	9.9	3.8	-0.2	-4.4	-7.9	-6.5	-1.9	
	平均	13.7	19.4	23.8	27.5	27.5	22.7	17.2	9.9	3.9	2.4	3.1	10.4	15.1

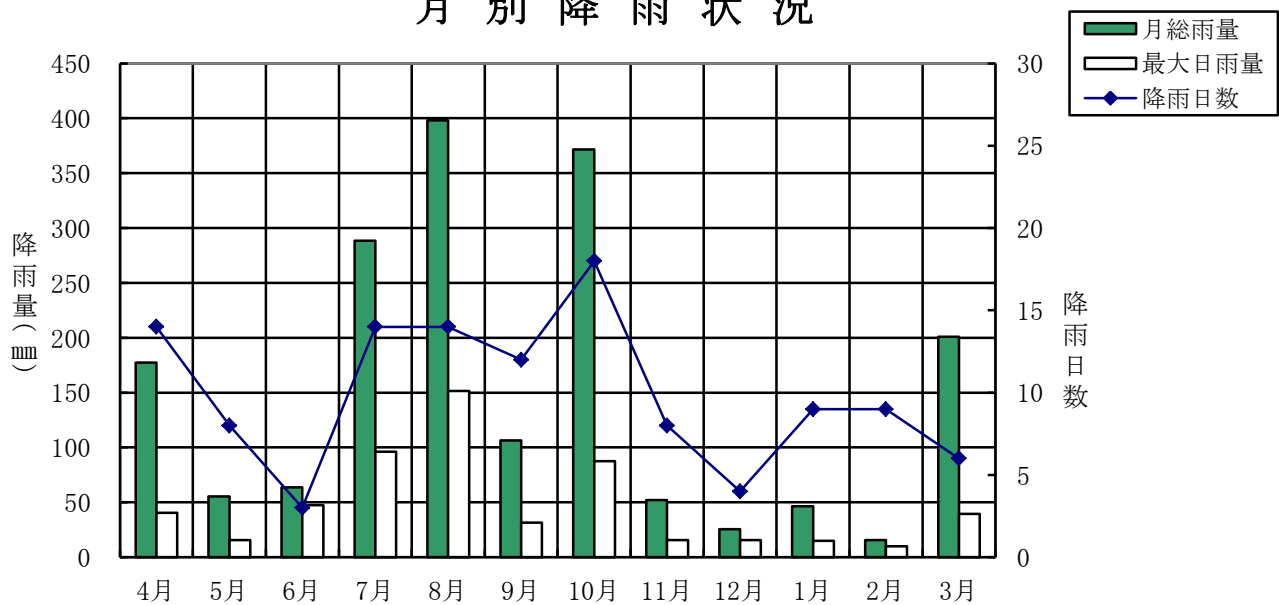
年間最高気温 36.8℃(8月24日 15時22分) 年間最低気温 -7.9℃(1月25日 06時32分)

月別湿度状況



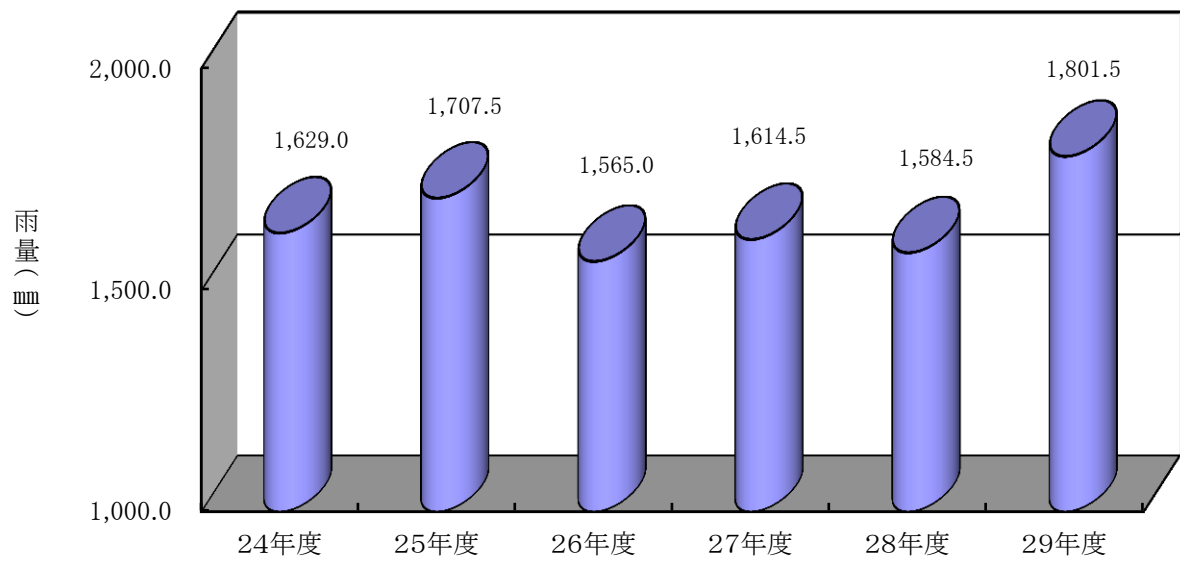
年間最低湿度 9.9% (3月30日 13時08分)

月別降雨状況

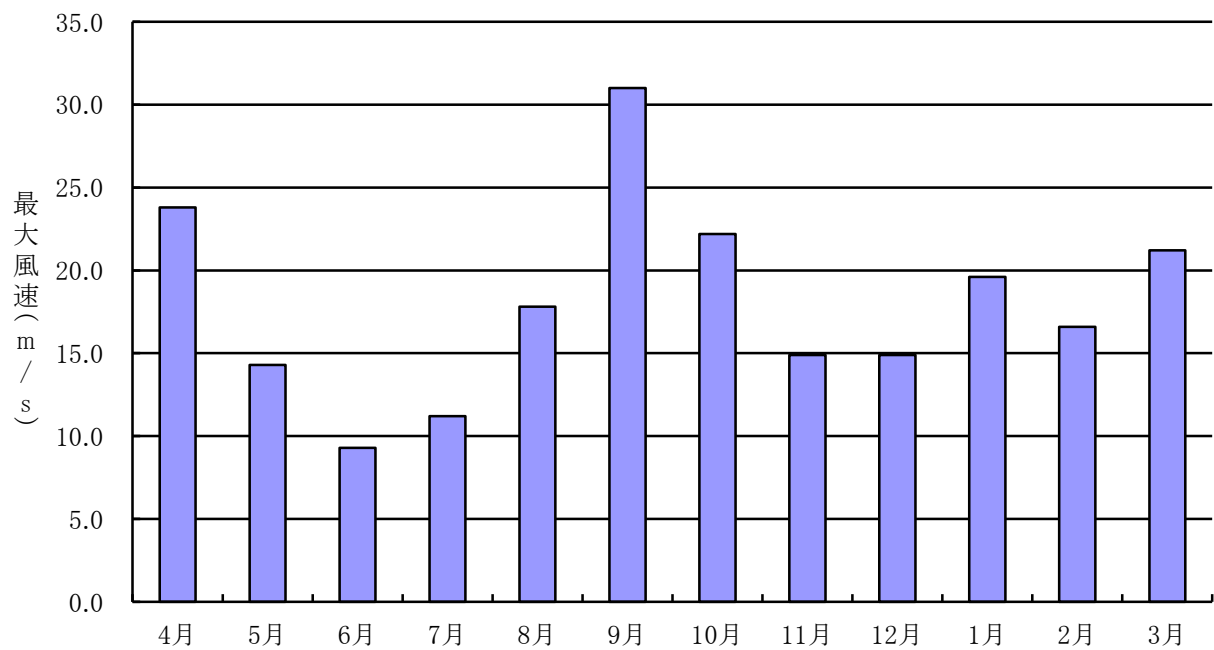


最大日降雨量 151.5mm (8月18日) 最大時間雨量 56.0mm (7月13日0時40分)

年度別雨量状況



月別風速状況



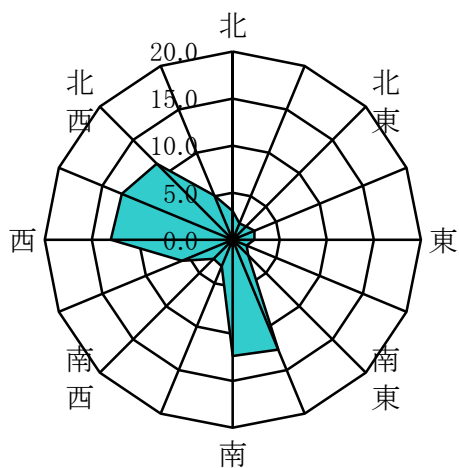
月別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
区分	風速	23.8	14.3	9.3	11.2	17.8	31.0	22.2	14.9	14.9	19.6	16.6	21.2	1.57
	m/s	1.8	1.5	1.1	1.3	1.5	1.5	1.4	1.4	1.7	1.8	1.8	2.0	

年間最大風速 31.0m/s(9月18日 0時40分)

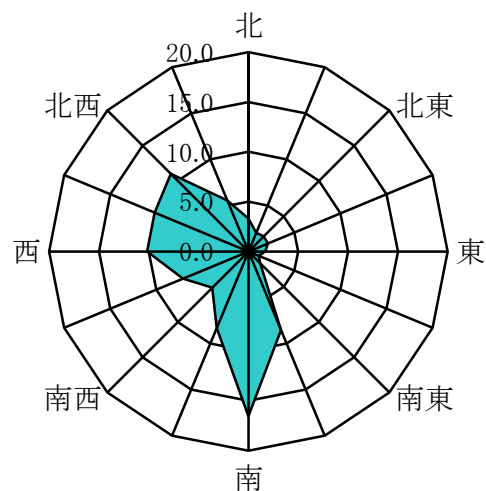
季節別風向状況

単位(%)

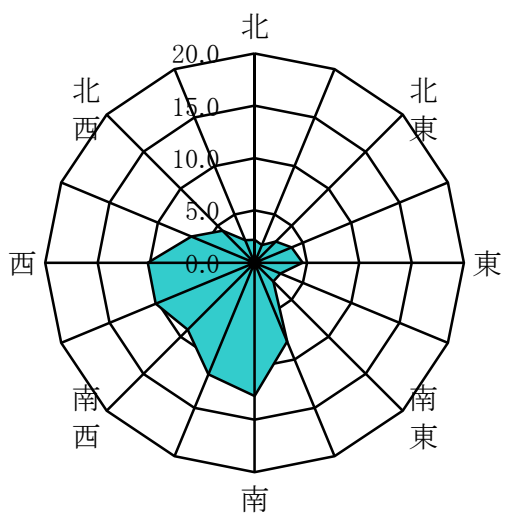
冬(12・1・2月) 無風=6.3



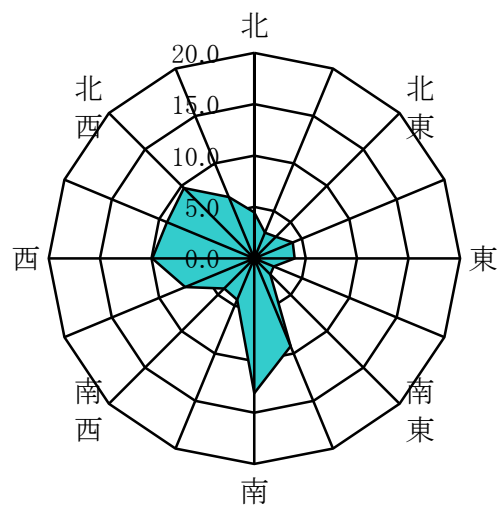
春(3・4・5月) 無風=4.2



夏(6・7・8月) 無風=6.0



秋(9・10・11月) 無風=6.7



年度別火災警報発令状況

区別 \ 年別	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
火災警報(回)	0	0	0	0	0

火の用心

ことばを形に習慣に

多治見市消防本部

〒507-0828

多治見市三笠町2丁目21番地

消防総務課

TEL(0572)22-9231・FAX(0572)21-0022

予防警防課 警防グループ

TEL(0572)22-9232・FAX(0572)21-0022

予防警防課 予防グループ

TEL(0572)22-9233・FAX(0572)21-0022

通信指令課

TEL(0572)22-9216・FAX(0572)24-0622

多治見南消防署

〒507-0828

多治見市三笠町2丁目21番地

TEL(0572)22-9217・FAX(0572)22-9234

多治見北消防署

〒507-0052

多治見市光ヶ丘4丁目48番地の4

TEL(0572)22-8802・FAX(0572)25-7387

多治見笠原消防署

〒507-0901

多治見市笠原町2081番地の1

TEL(0572)43-4613・FAX(0572)43-3599

平成29年度版

発行 多治見市消防本部

〒507-0828

多治見市三笠町2丁目21番地

編集 消防本部 通信指令課